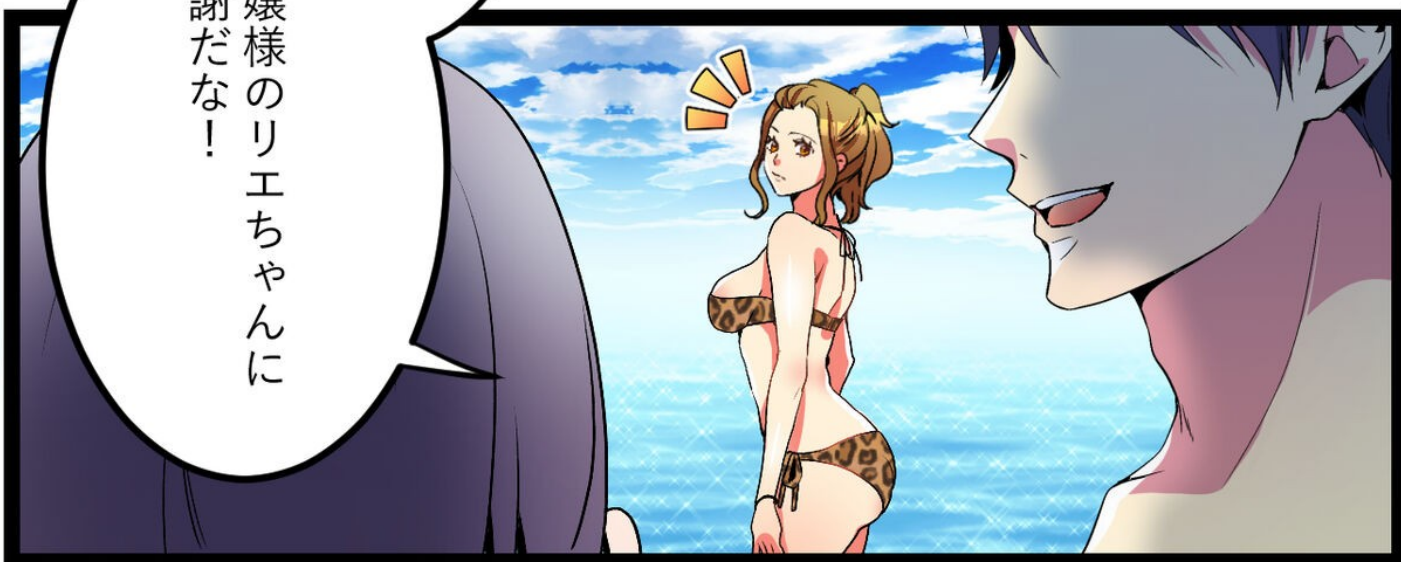
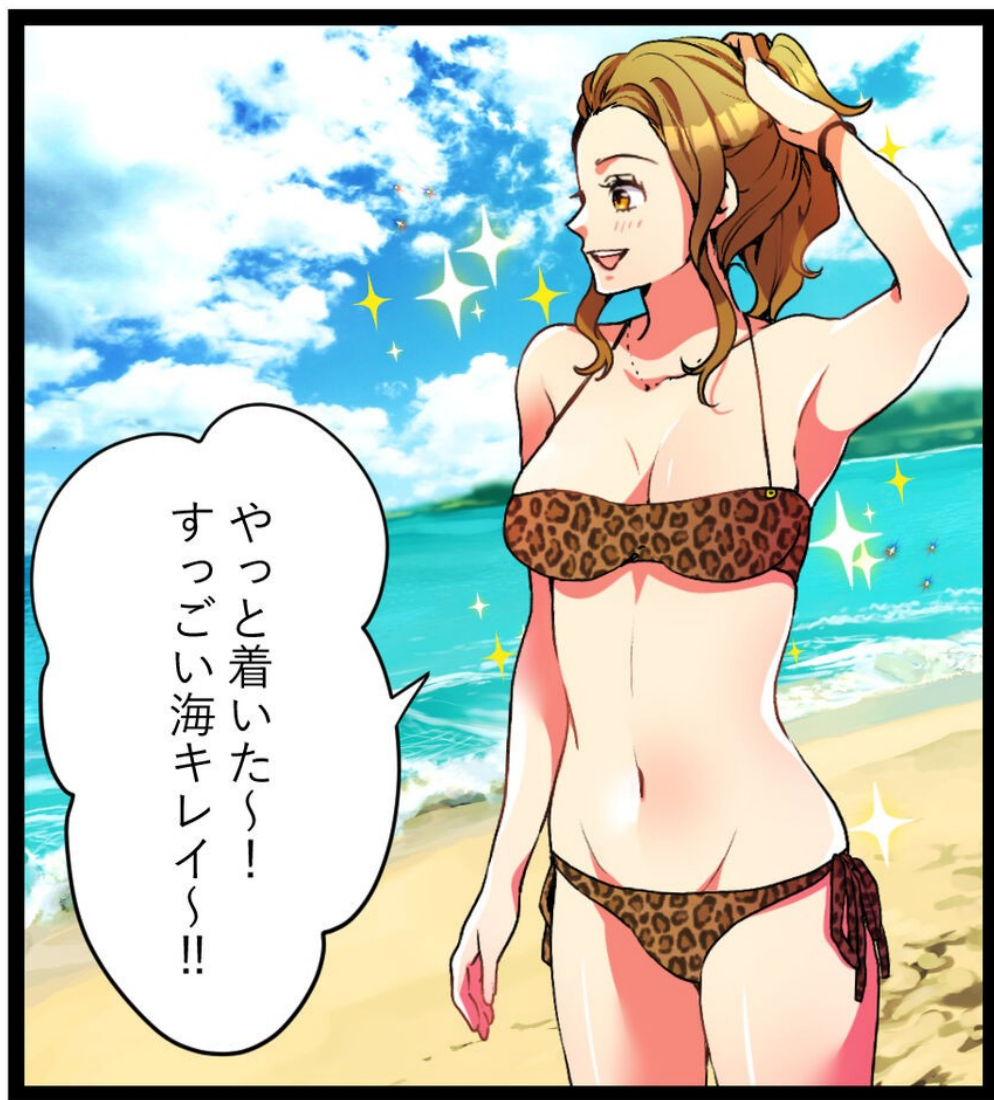




NTR ギヤル。

—海で友達とWデートのはずが、寝取られ青姦中—

フルカラー—62p





うふふ

そんなあ...
たまたま使ってない
別荘が近くにある
だけだし?

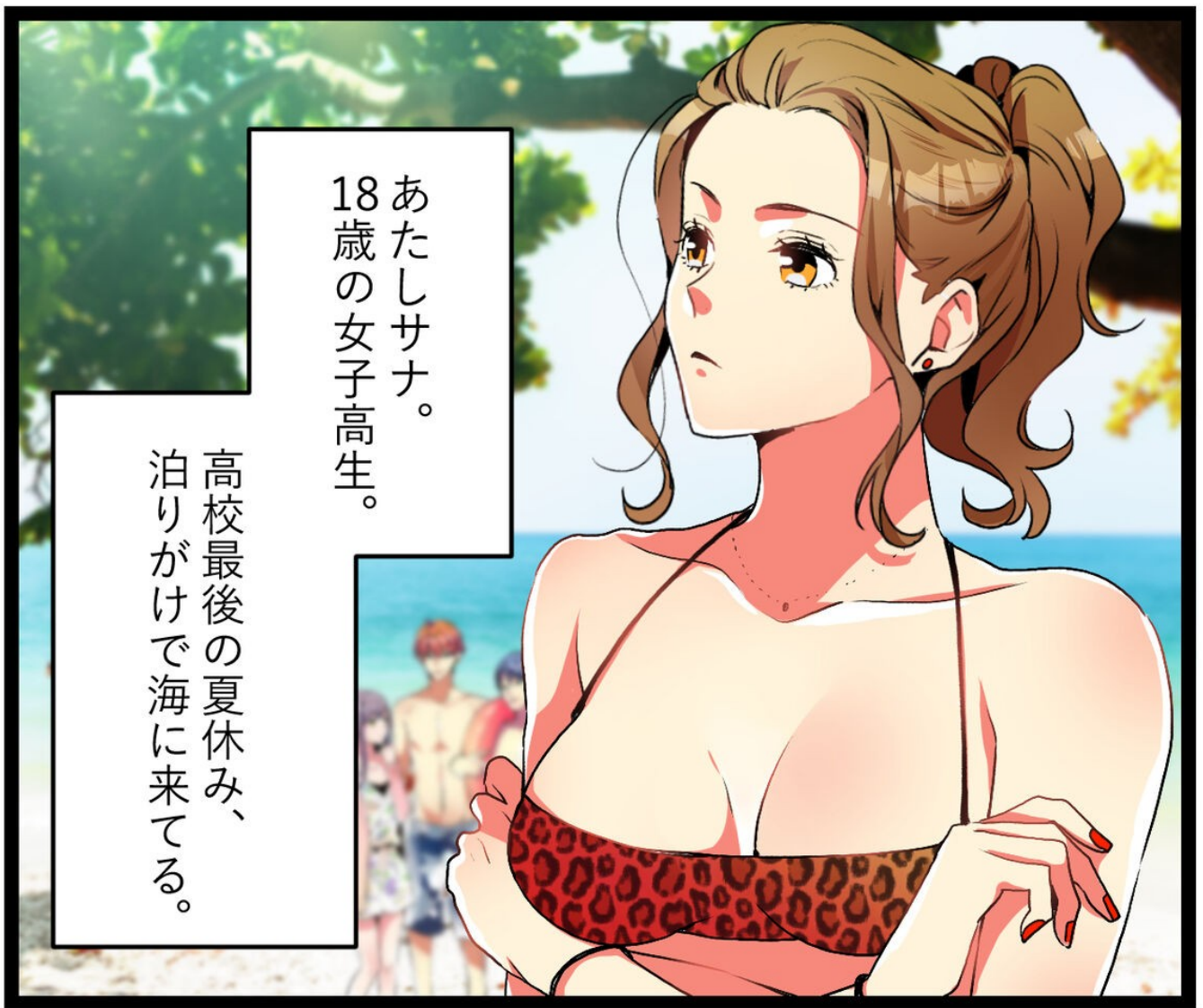


...うん。
今日はありがとね。



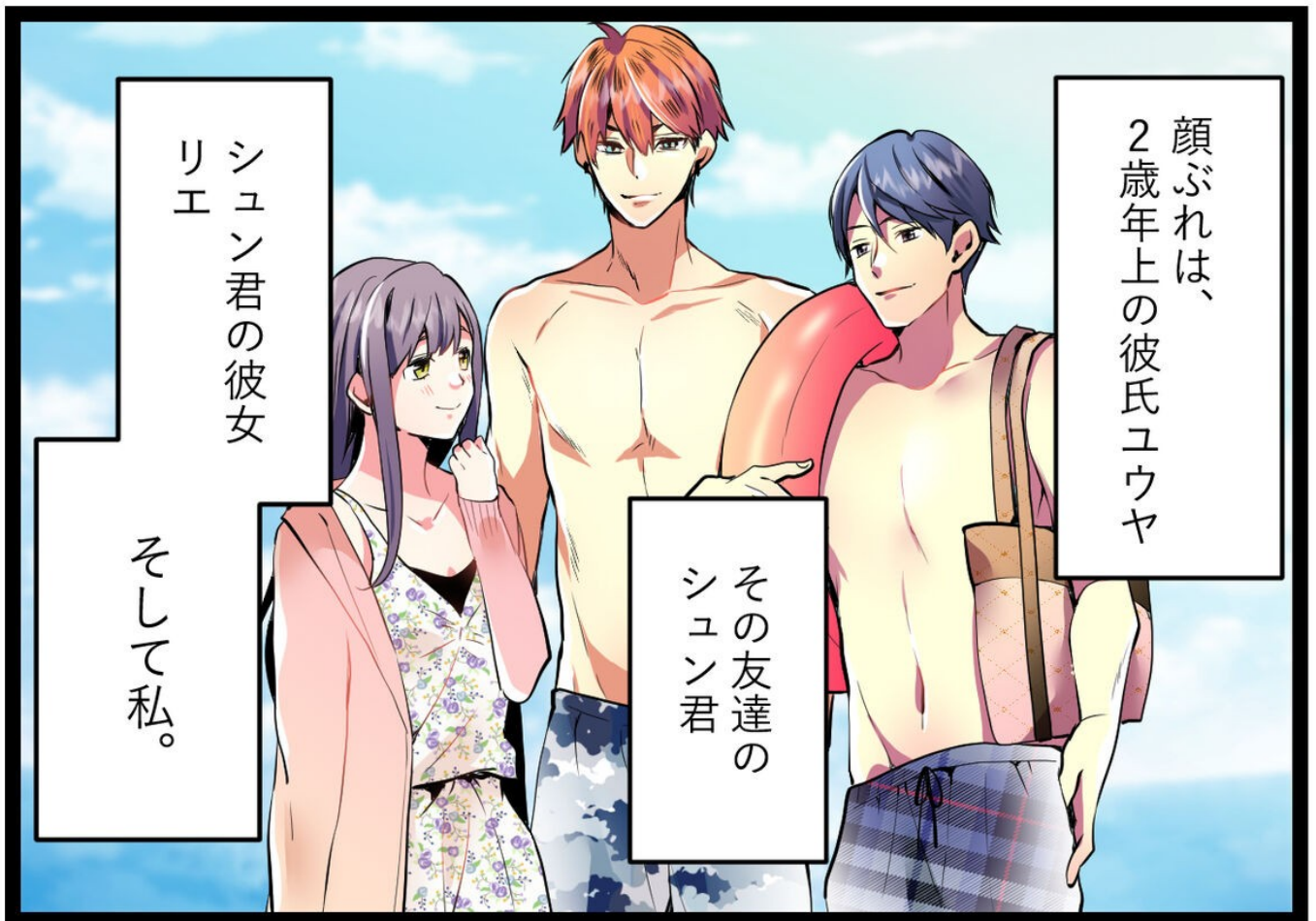
いや、別荘とか十分
お嬢様だって!

なっ、
サナ?



あたしサナ。
18歳の女子高生。

高校最後の夏休み、
泊りがけで海に来てる。



顔ぶれは、
2歳年上の彼氏ユウヤ

その友達の
シュン君

シュン君の彼女
リエ

そして私。



シユン君はユウヤと
同じ大学だけど

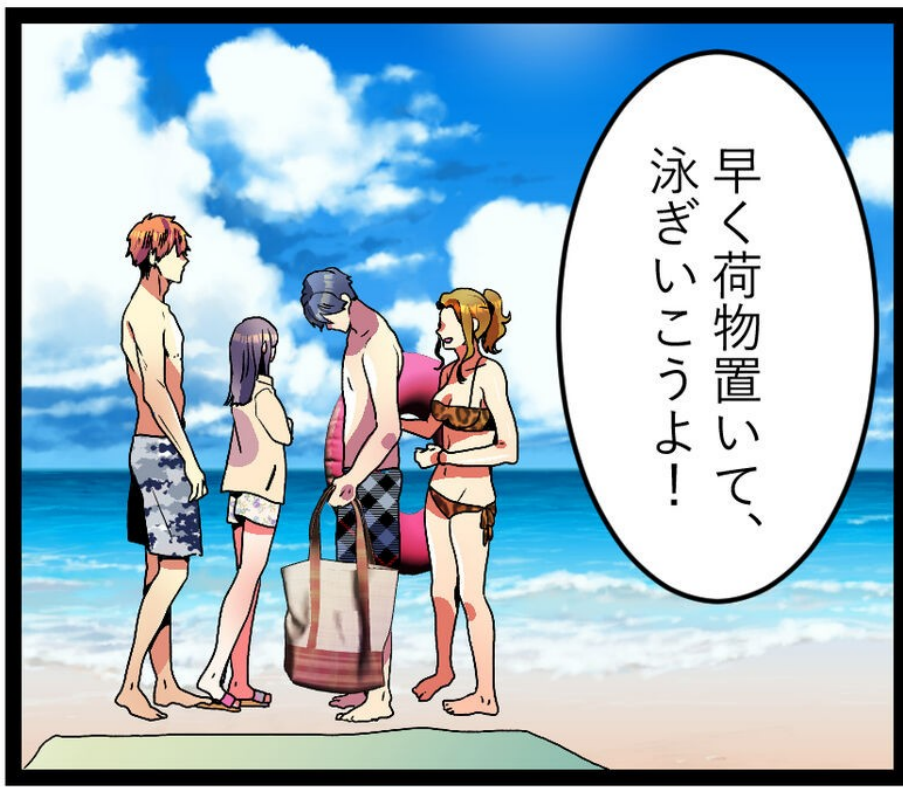
かなりの遊び人
らしい。



会えば話すけど、
なにかと対抗心
燃やしてきて
正直苦手……



因みにリエとは
高校も違うし



早く荷物置いて、
泳ぎいこうよ！

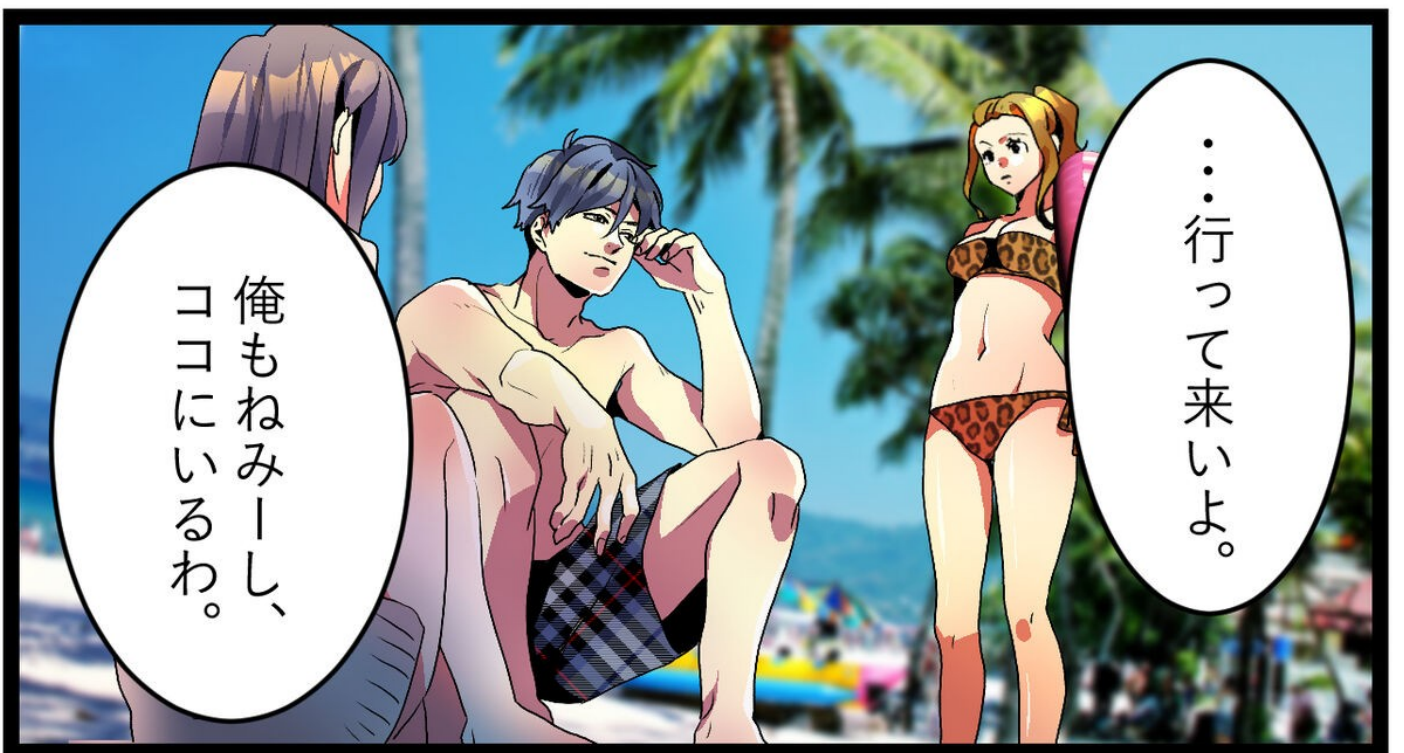


ド
サッ



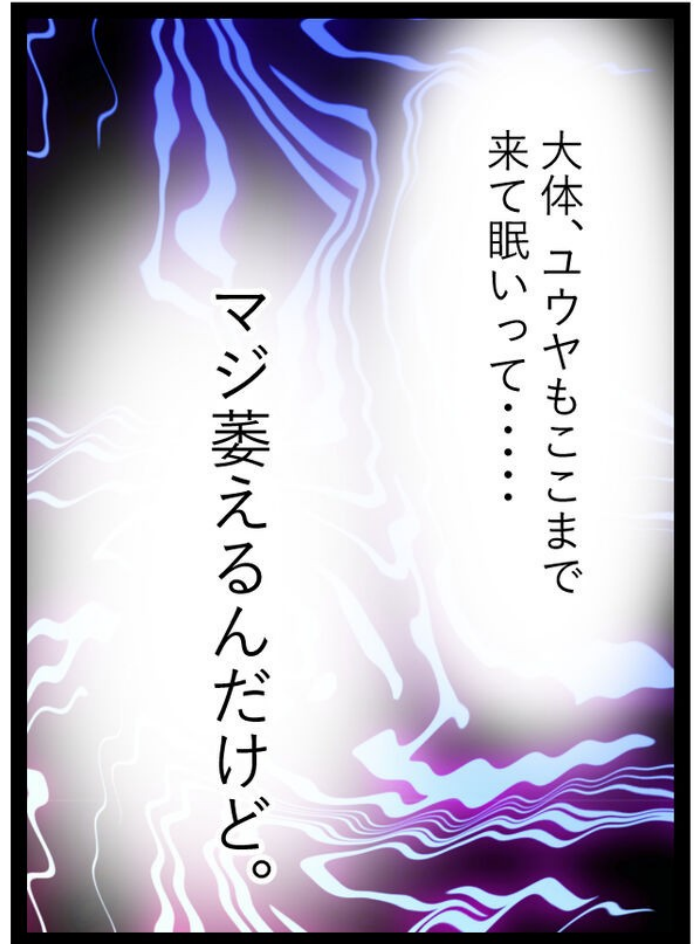
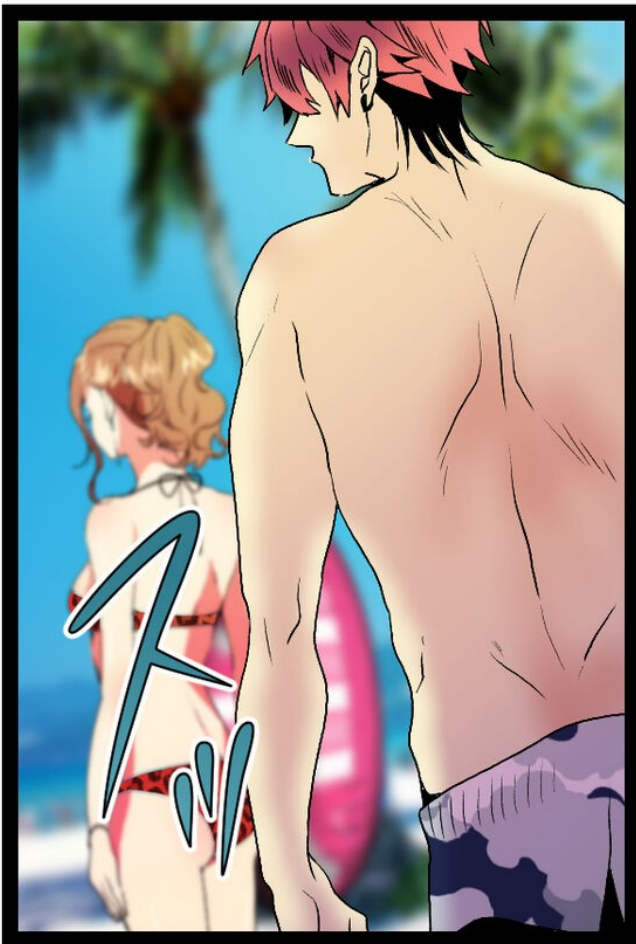
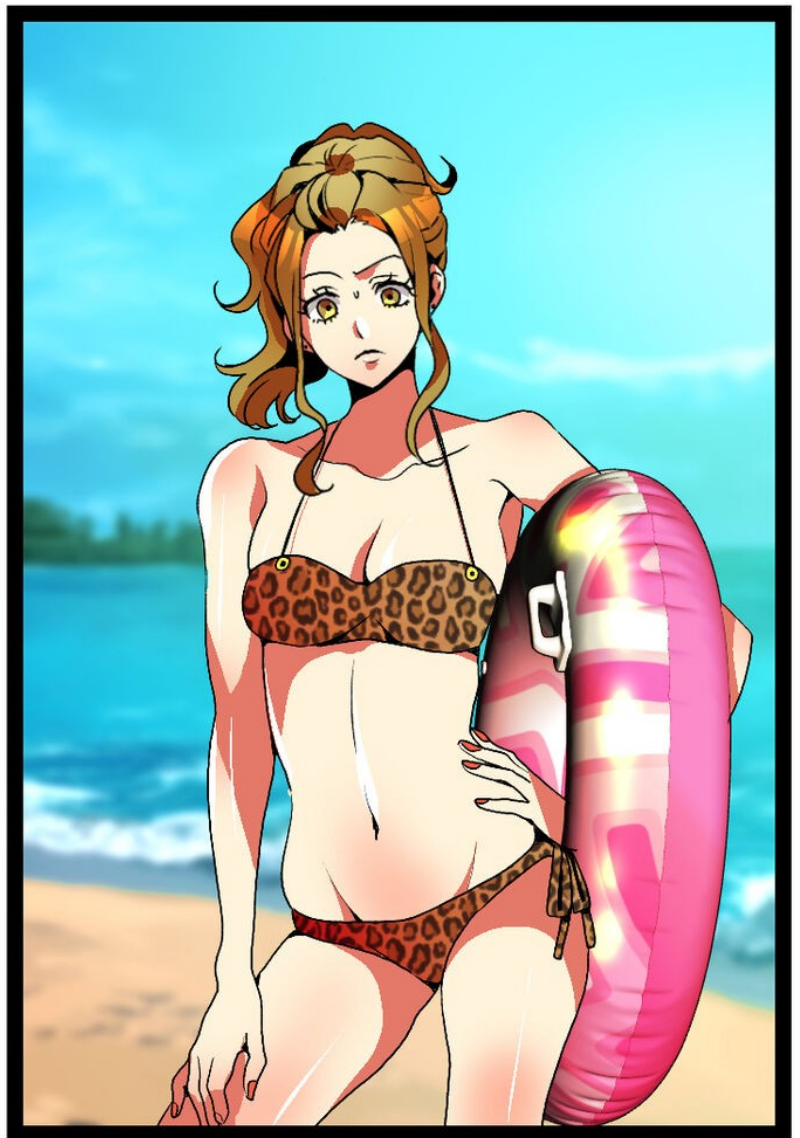
あ、私
肌弱くて……
海苦手なんだあ

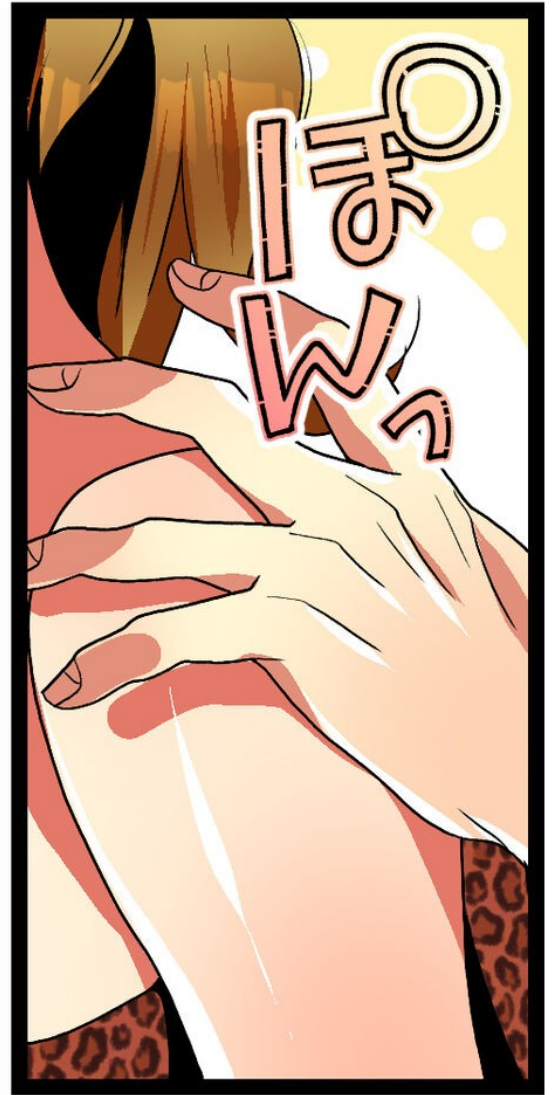
荷物見てるし、
サナちゃんは
泳いでくれば？



……行って来いよ。

俺もねーし、
ココにいるわ。









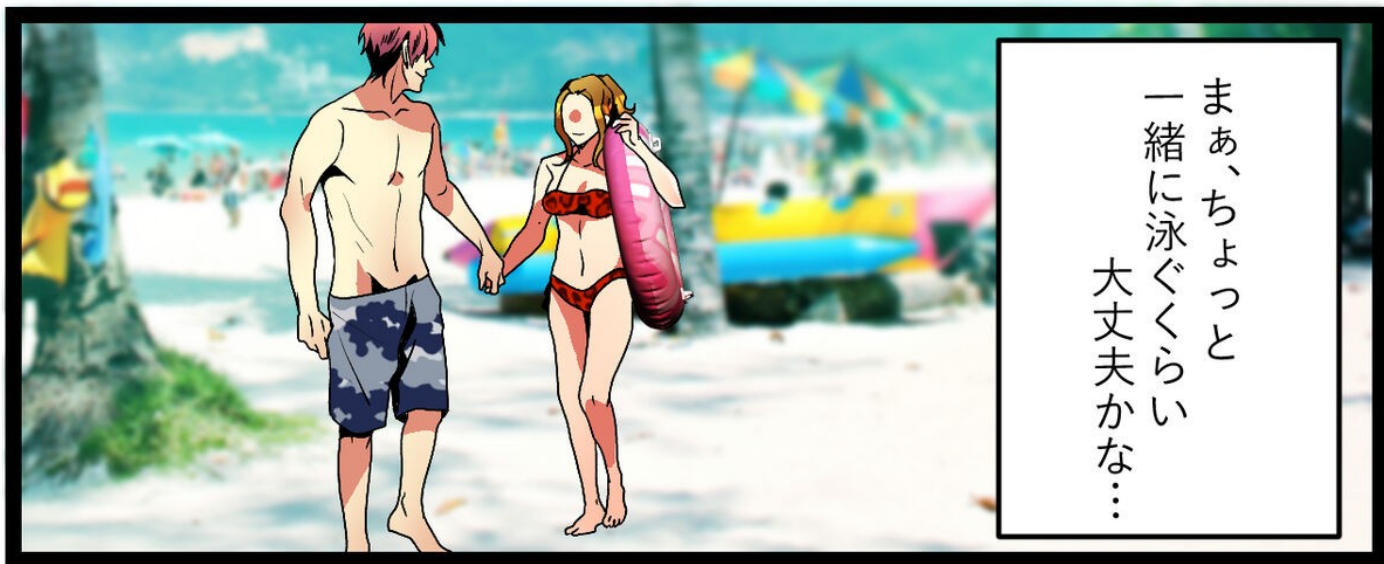
でも、久々の海だし…



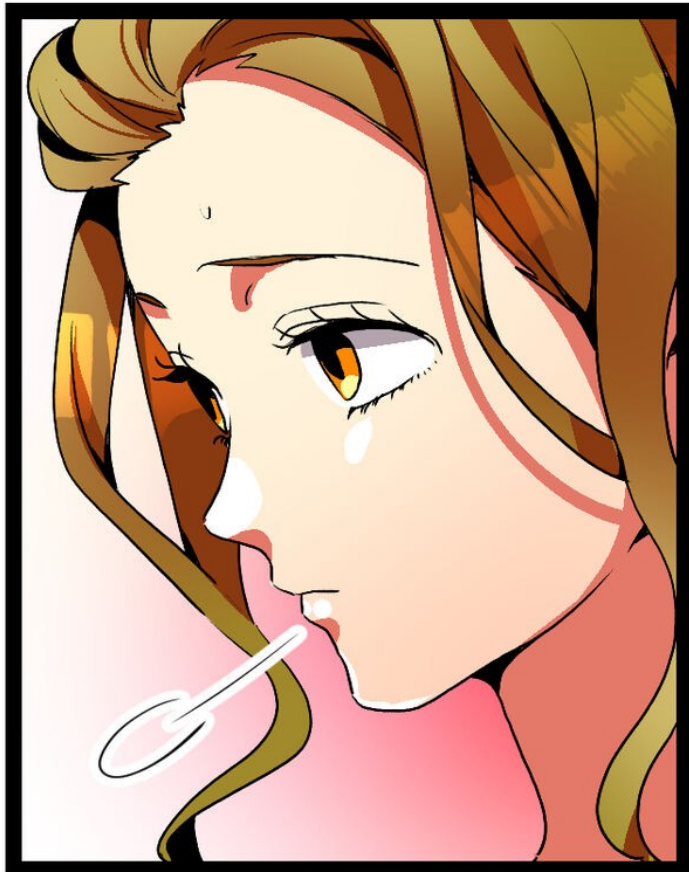
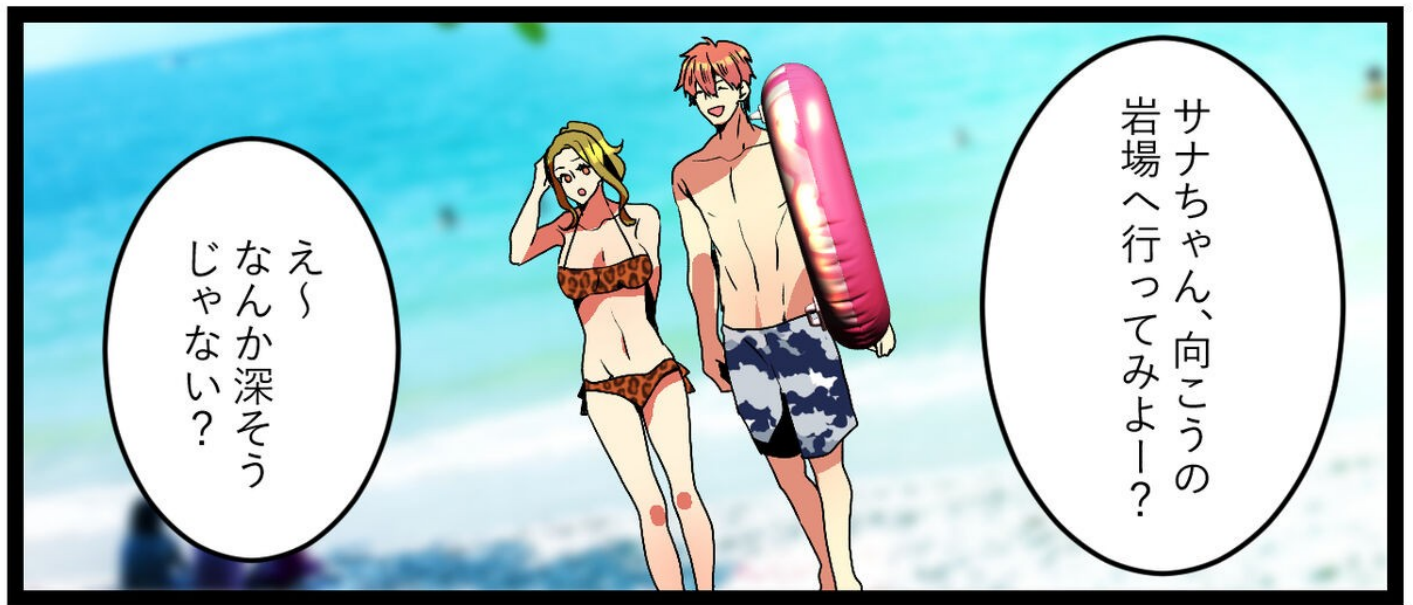
シユン君は、
二人きりになると
色々と危険かも……



ユウヤとリエが
ノリ悪いのも
ムカつくし…

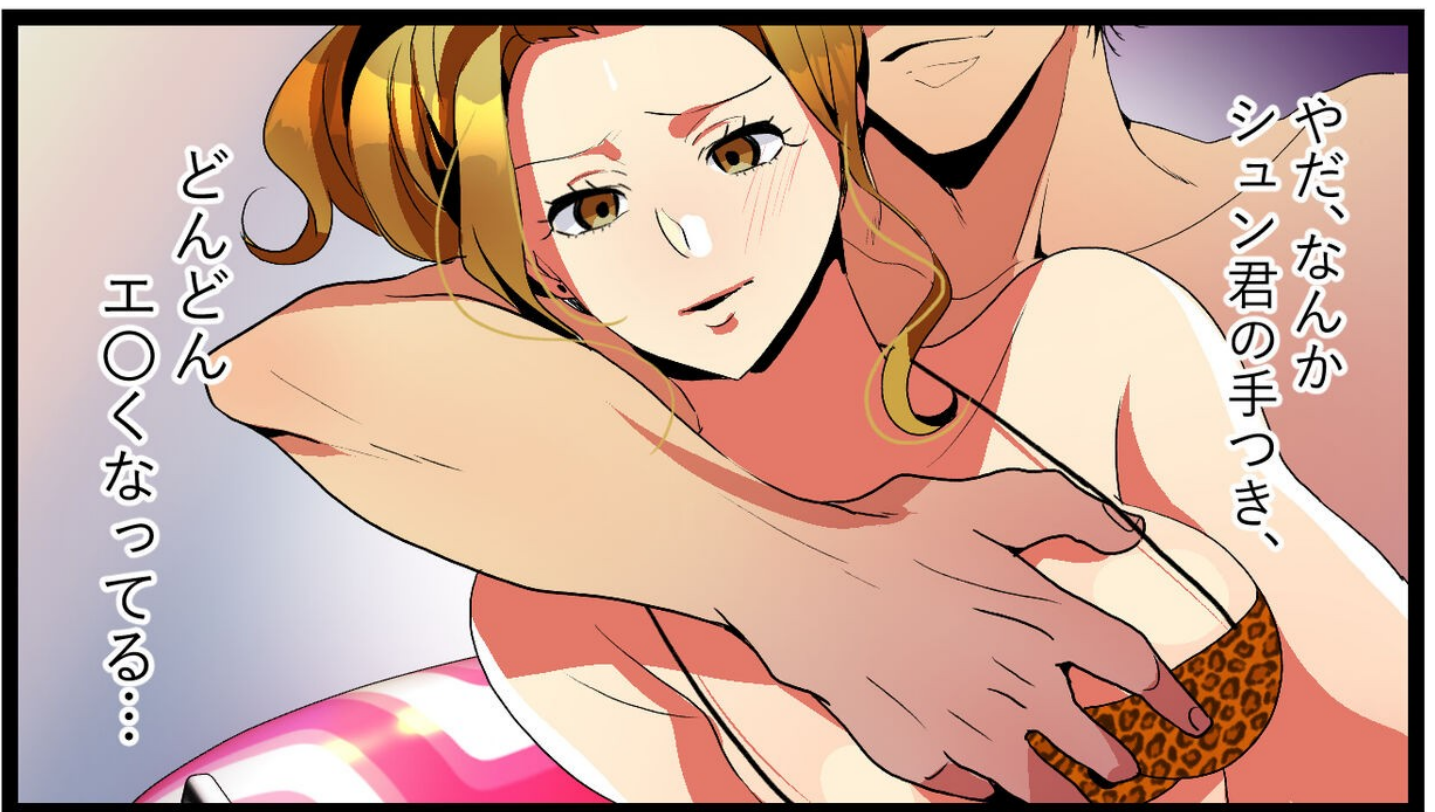
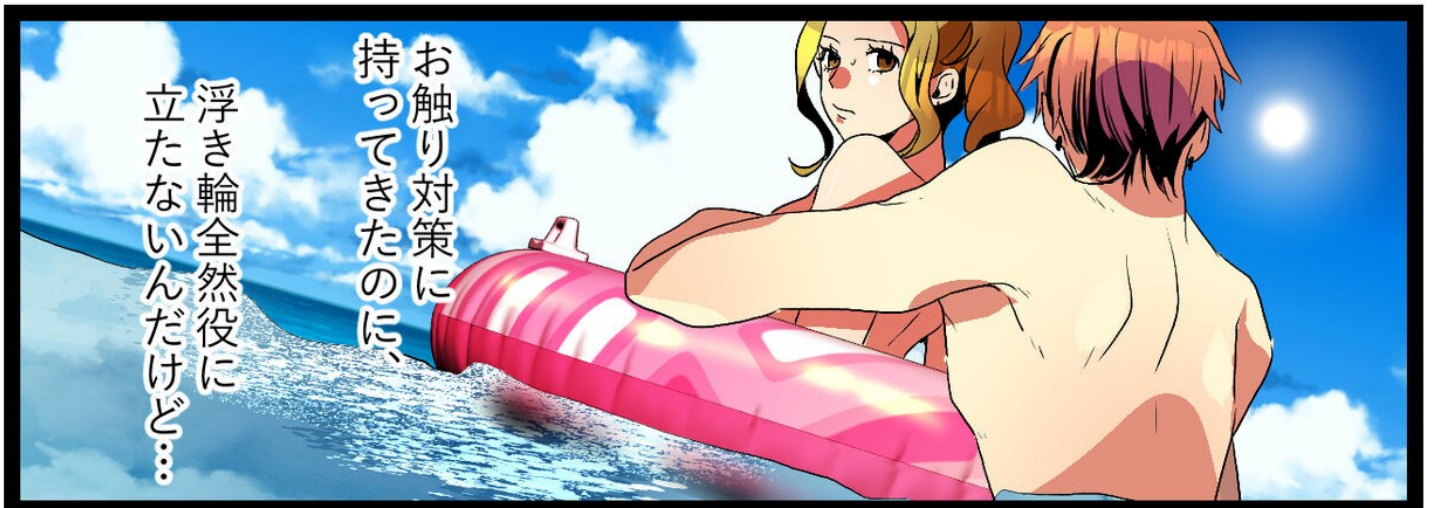
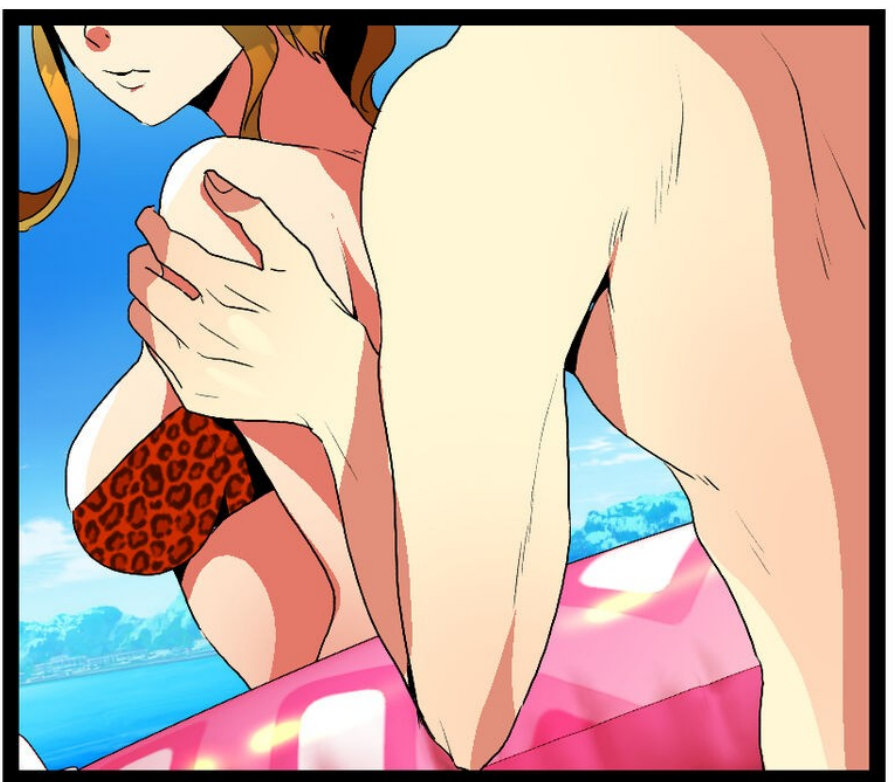
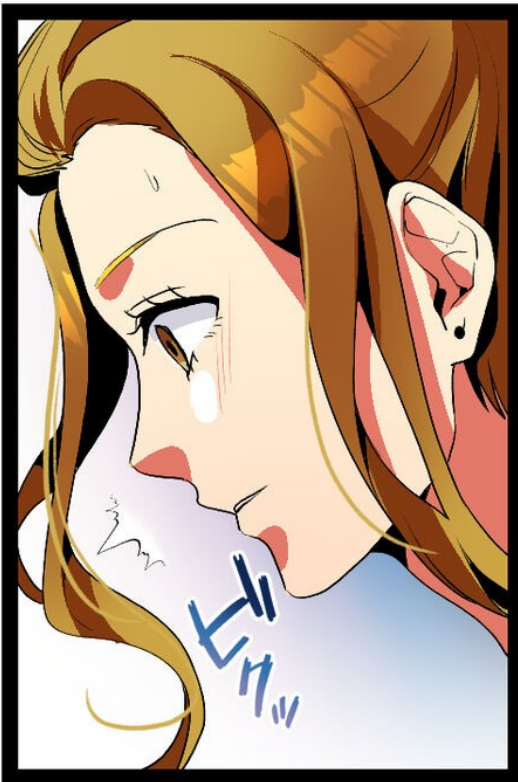


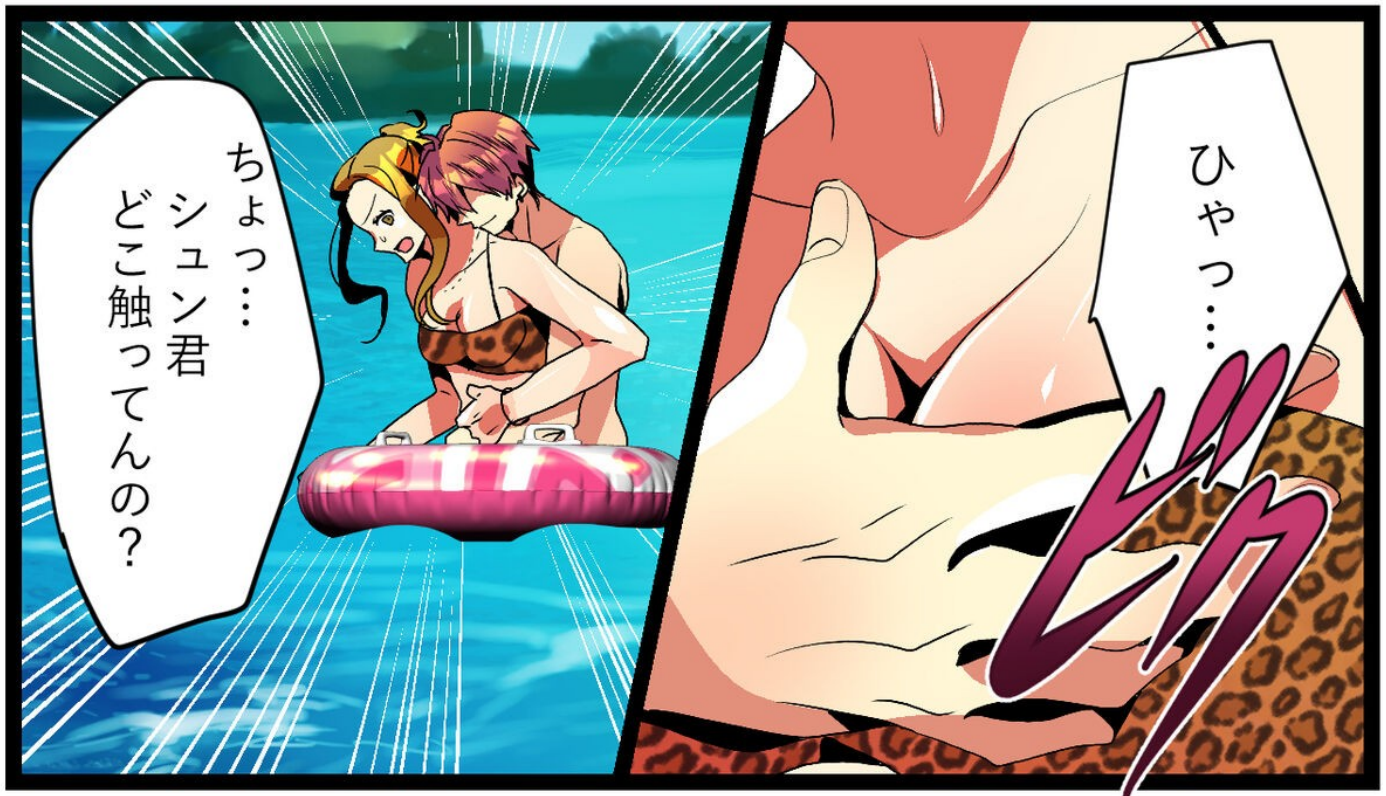
まあ、ちよつと
一緒に泳ぐくらい
大丈夫かな…





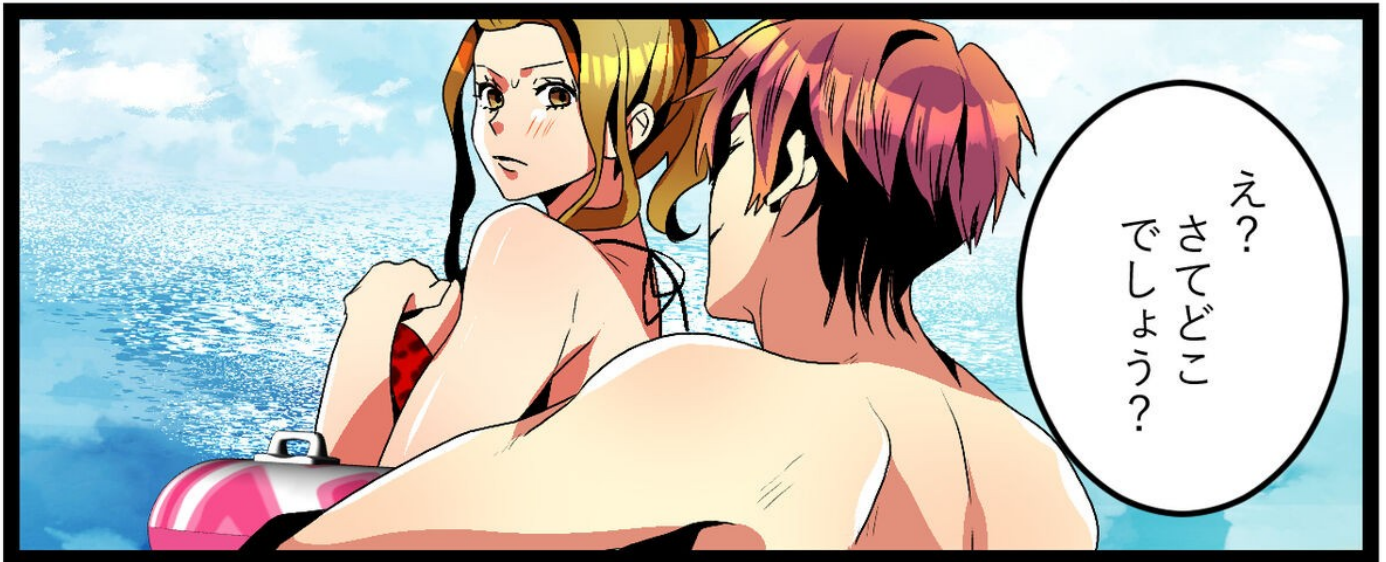




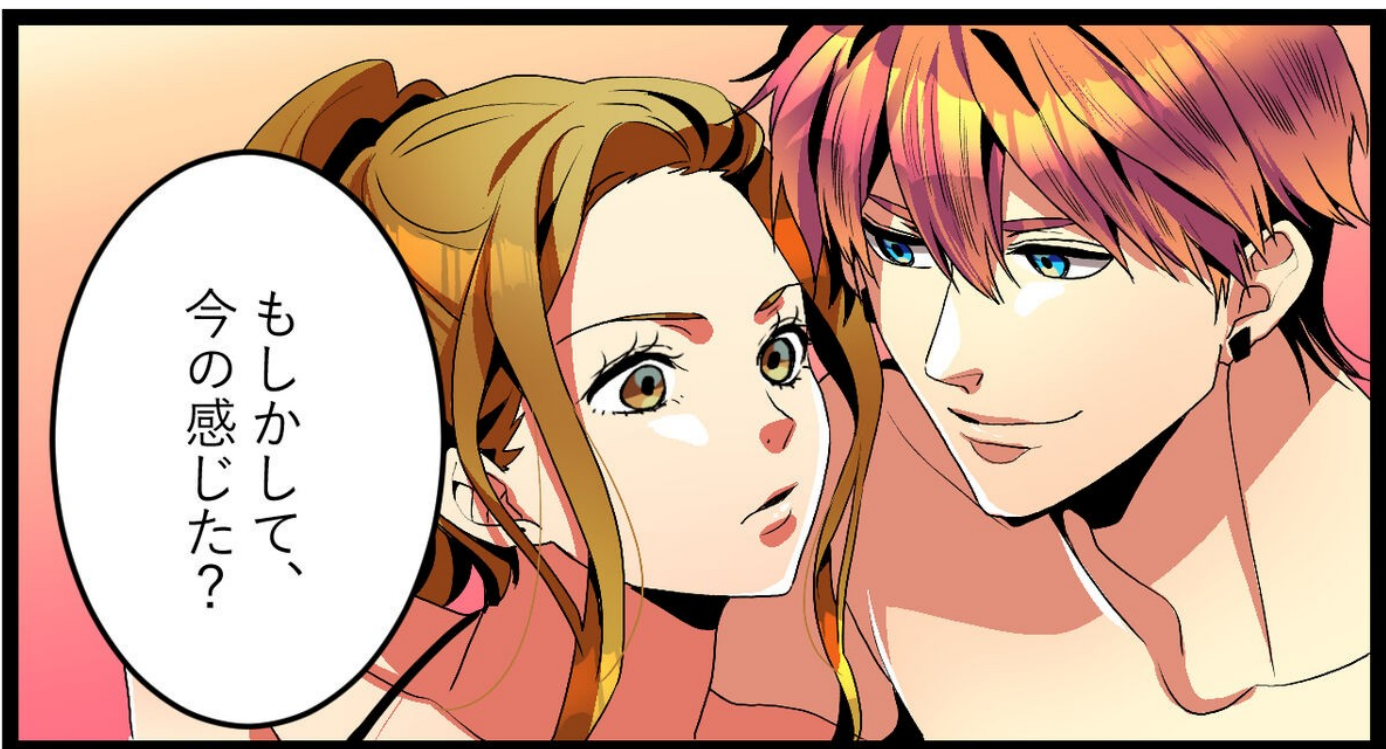


ちよっ…
シユン君
どこ触ってんの？

ひやっ…



え？
さてどう
でしょう？



もしかして、
今の感じた？



いつの間にかこんな人気のない
岩陰まで来ちゃってるし…

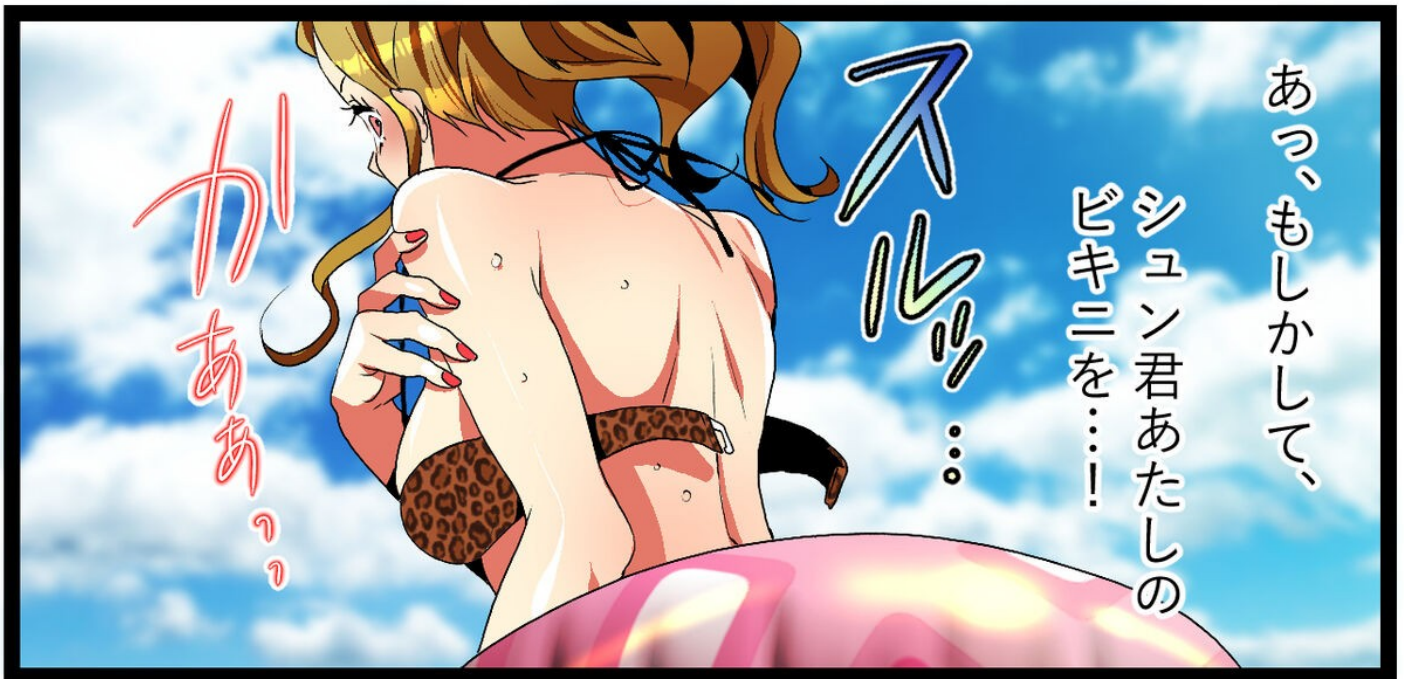
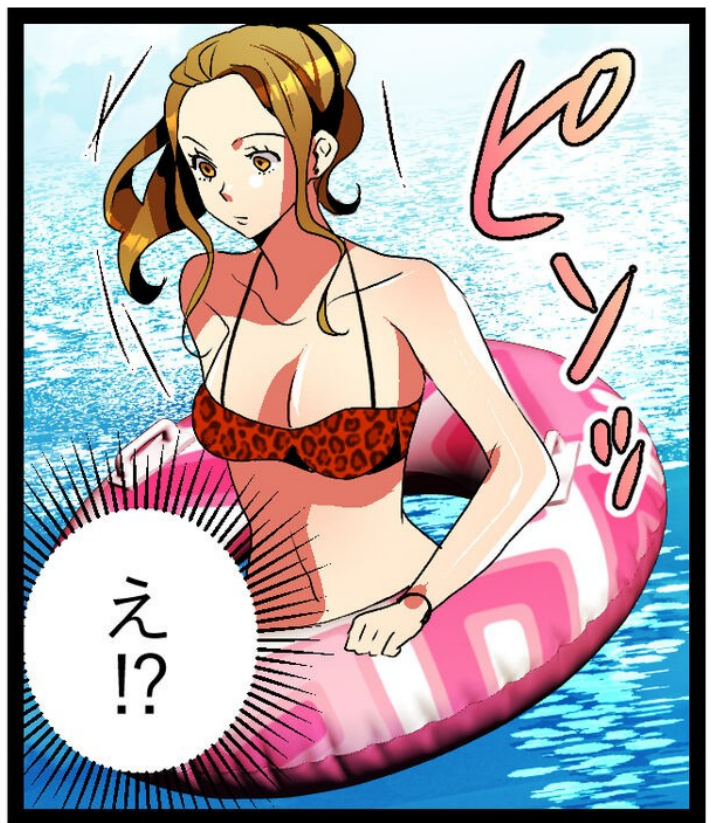
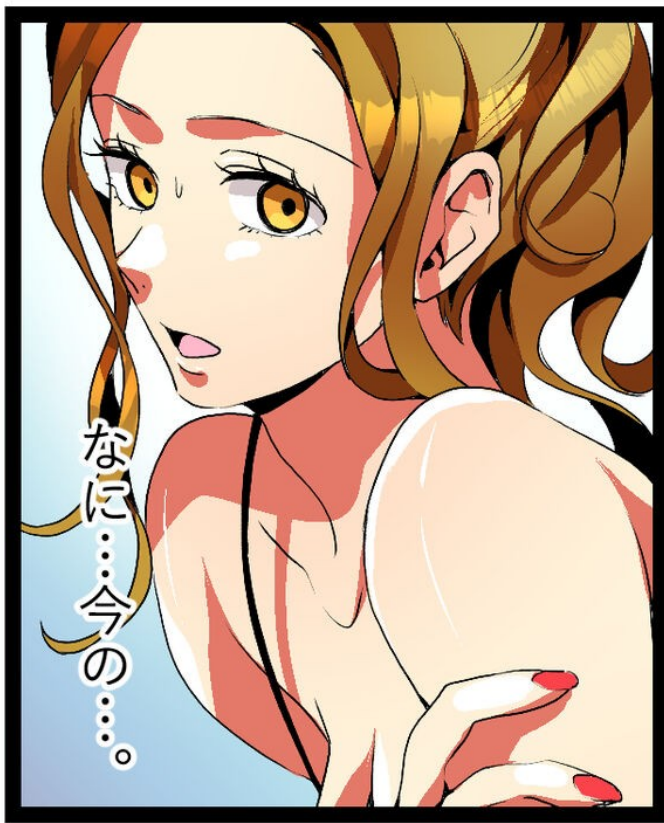


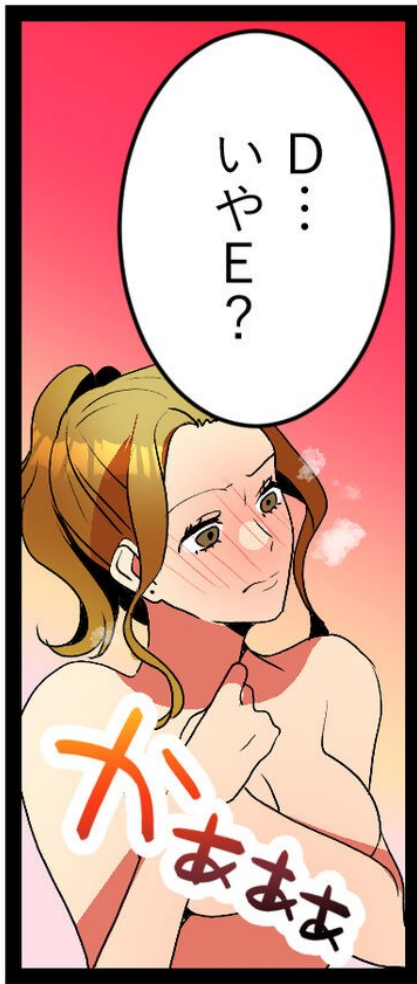
もうっ…

シュン君って、どこまで
冗談でどこまで本気が
分かんないし…



これってちよっと
ヤバイ状況なんじゃ…





D…
いやE?!

がぁぁぁ



うお〜
やっぱでけえな!

ユウヤ
うらやましー。



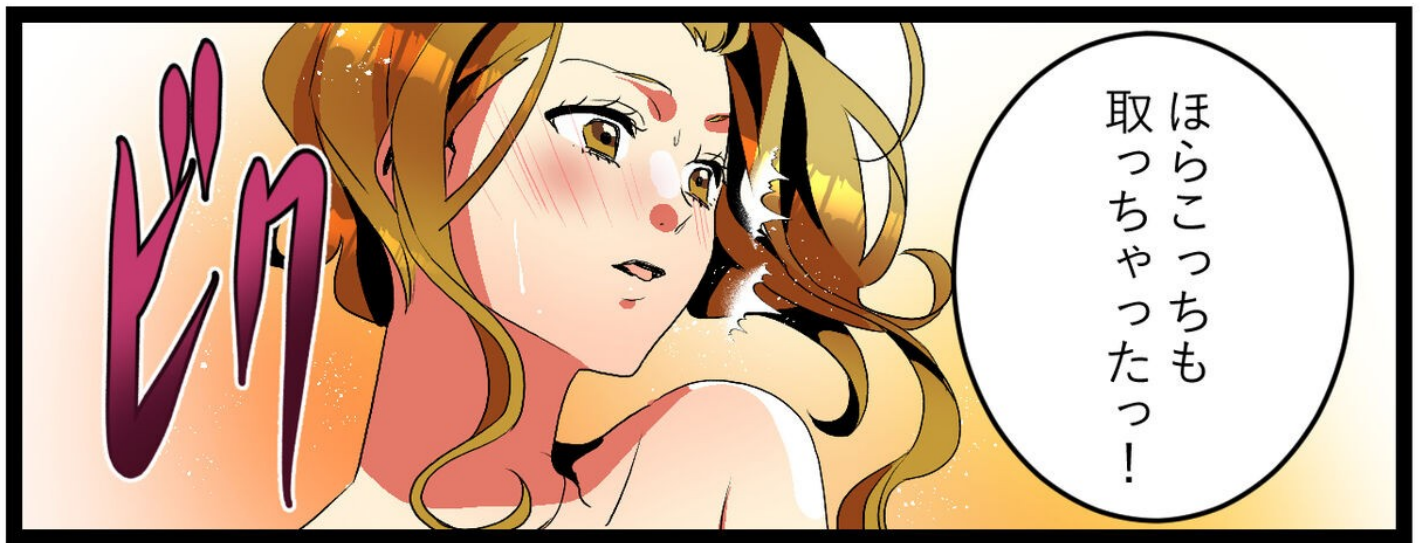
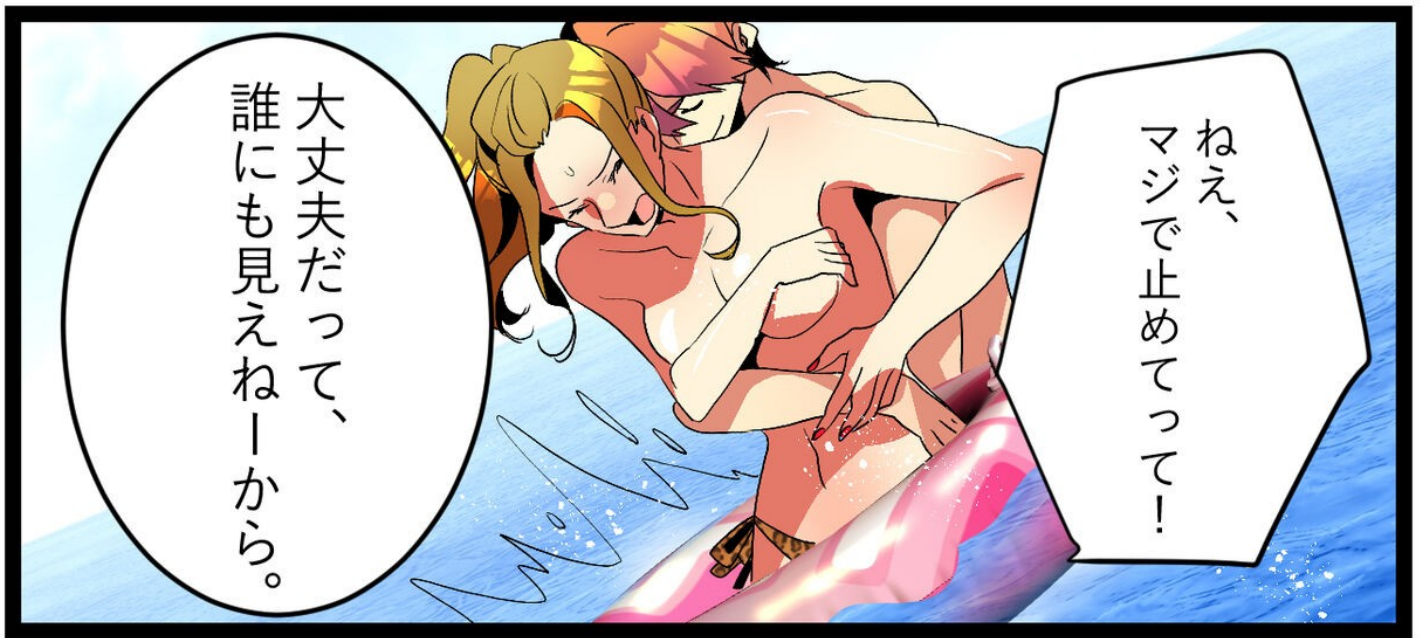
信じらんない!

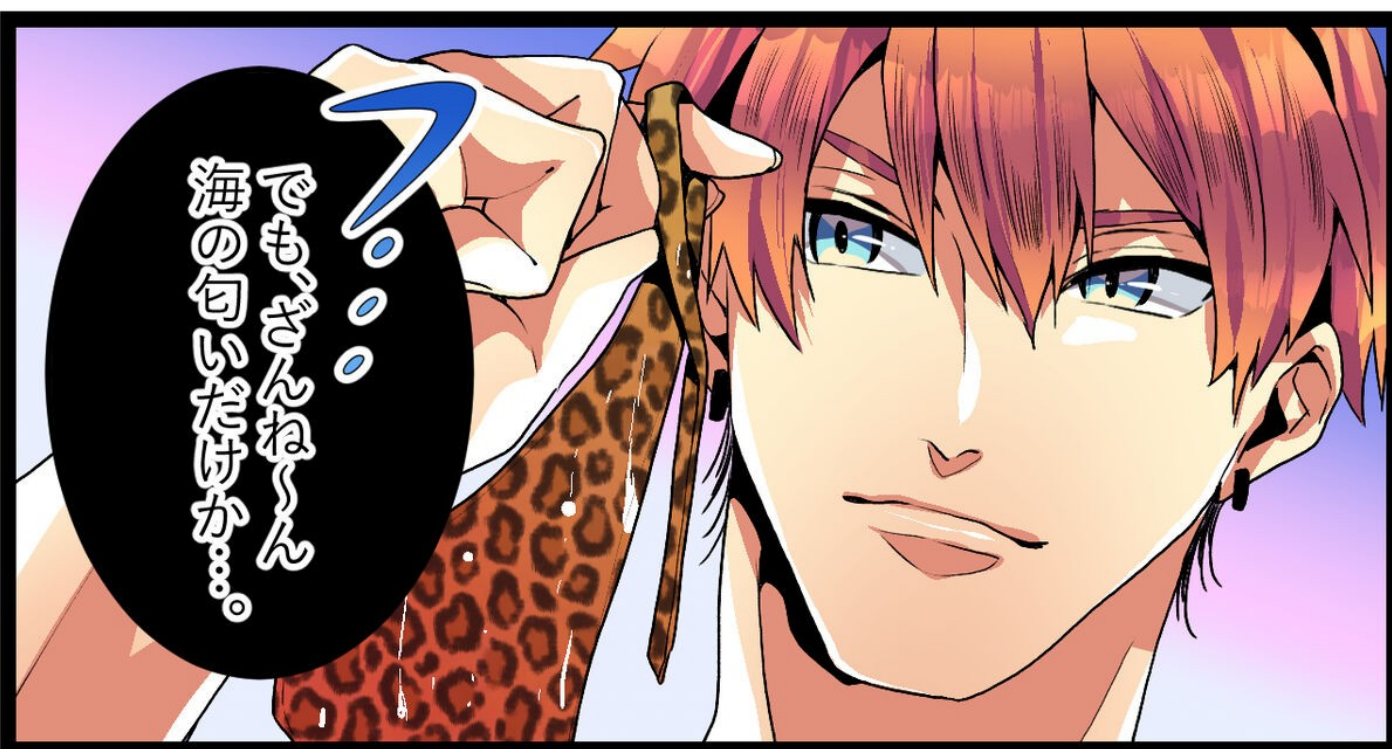
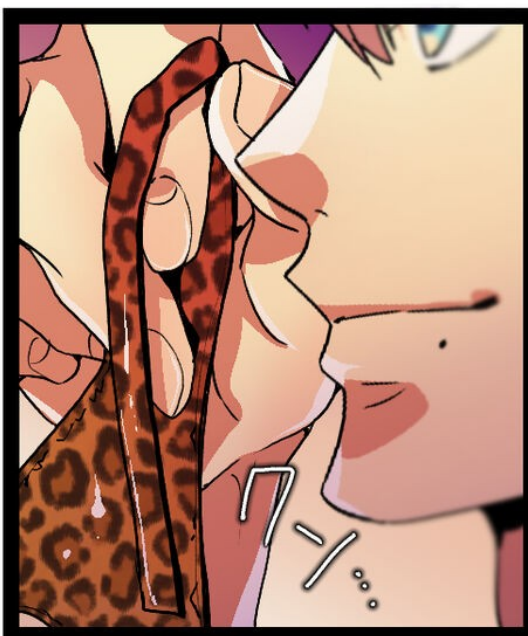


ねえっ
ふざけないでっ!!



一瞬で外しちゃうなんて
どんだけ手慣れてんの!?







あたし、今
何も着てない!!



なっ……

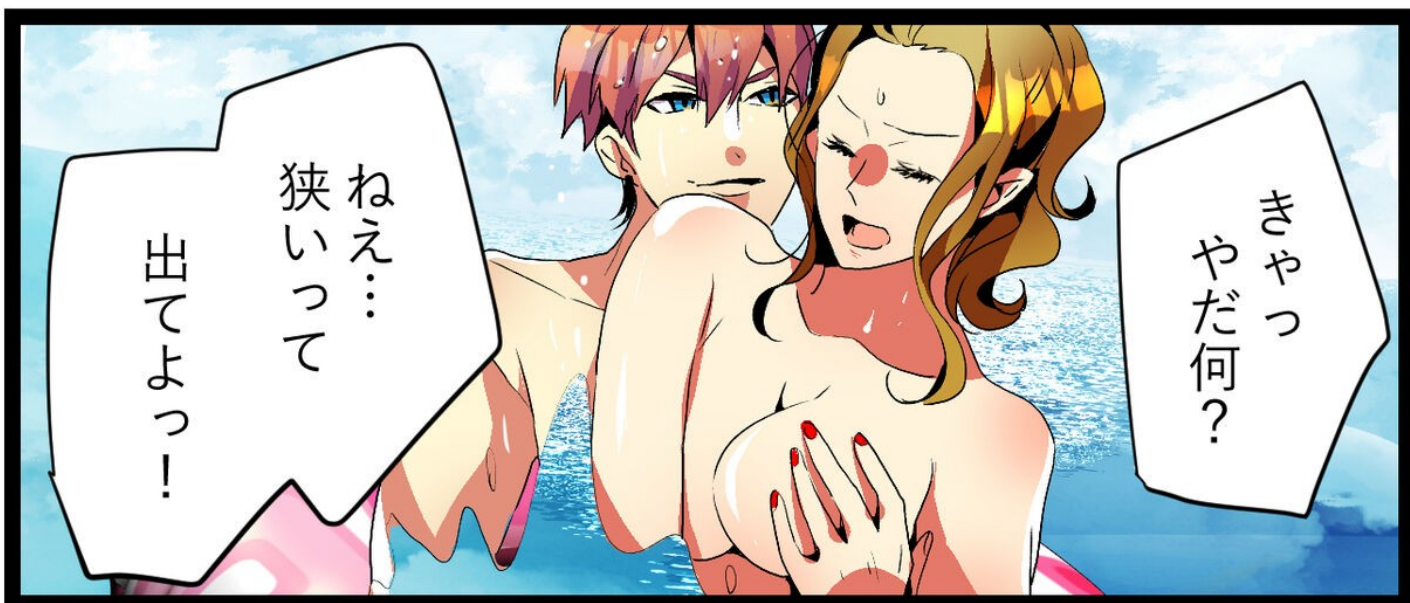
そんな、うそでしょ?



こんな簡単に
シユン君の思い通りに
なるなんて……!!



注意してたはずなのに……





そんな触り方…
感じちゃうよ…っ

やあっ…



えっ…
嘘!?

こんなくっつかれたら…



やっぱシユン君

初めからそのつもりで
あたしを誘ったの…!?

はあっ

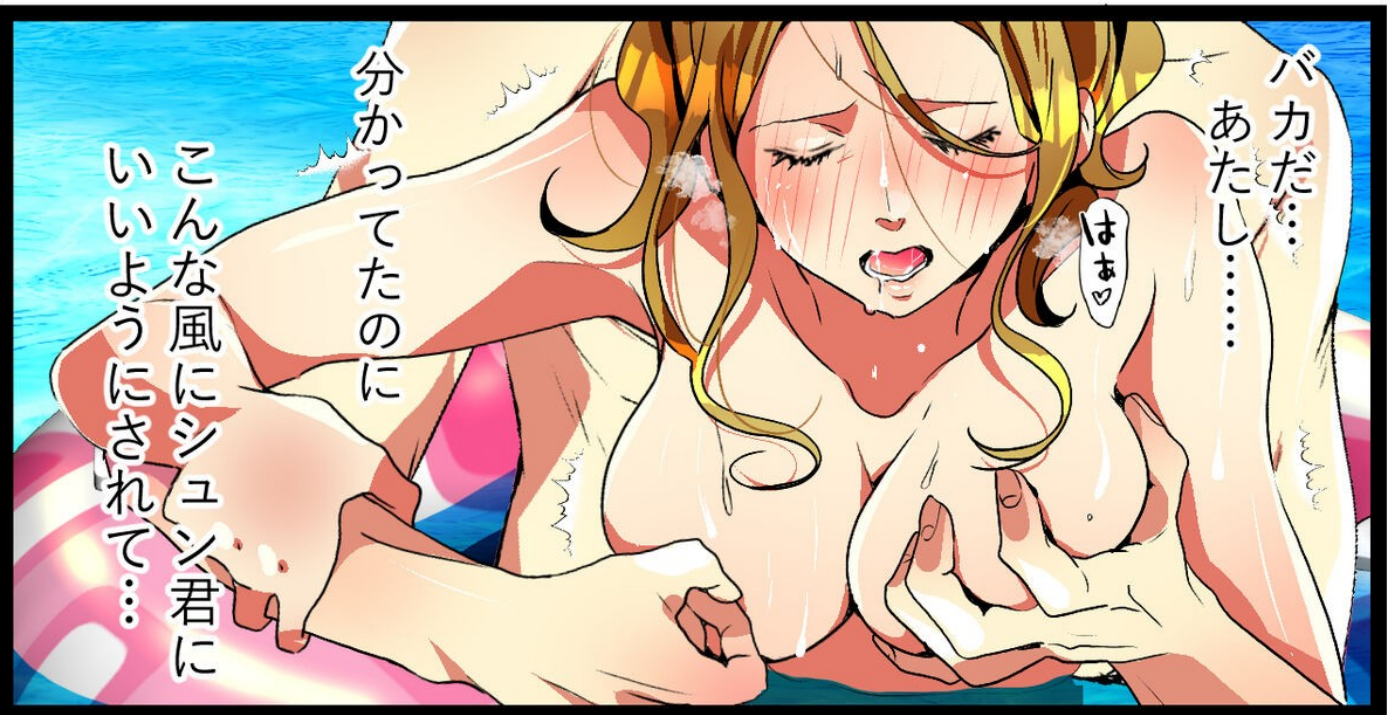
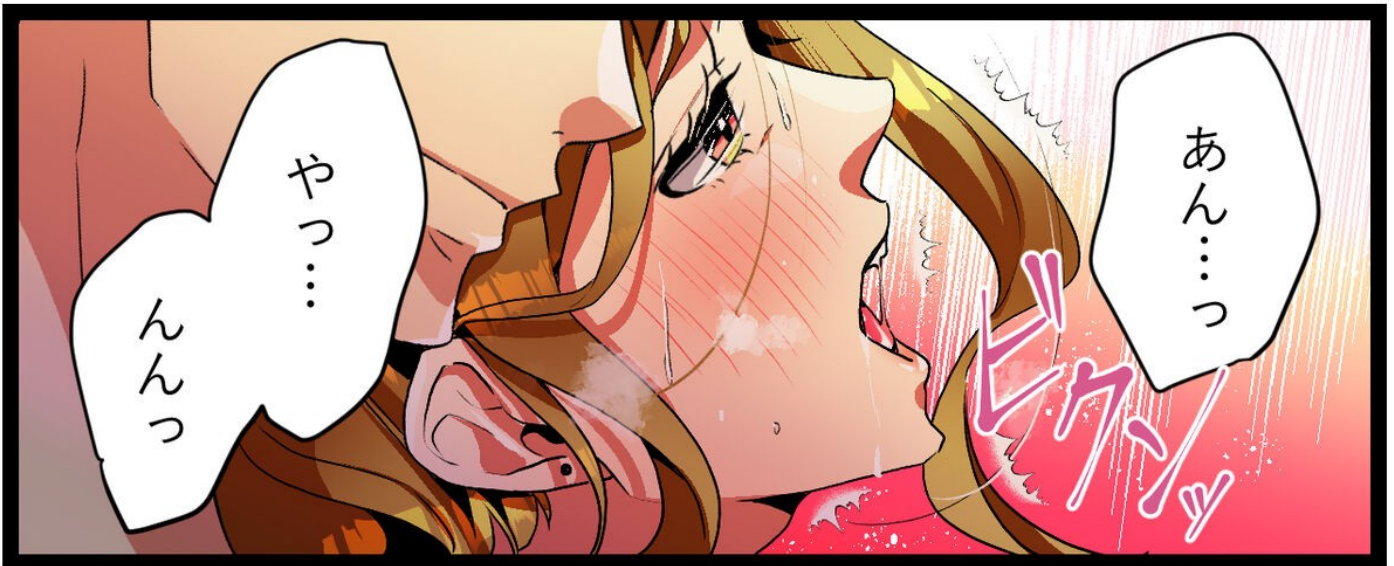
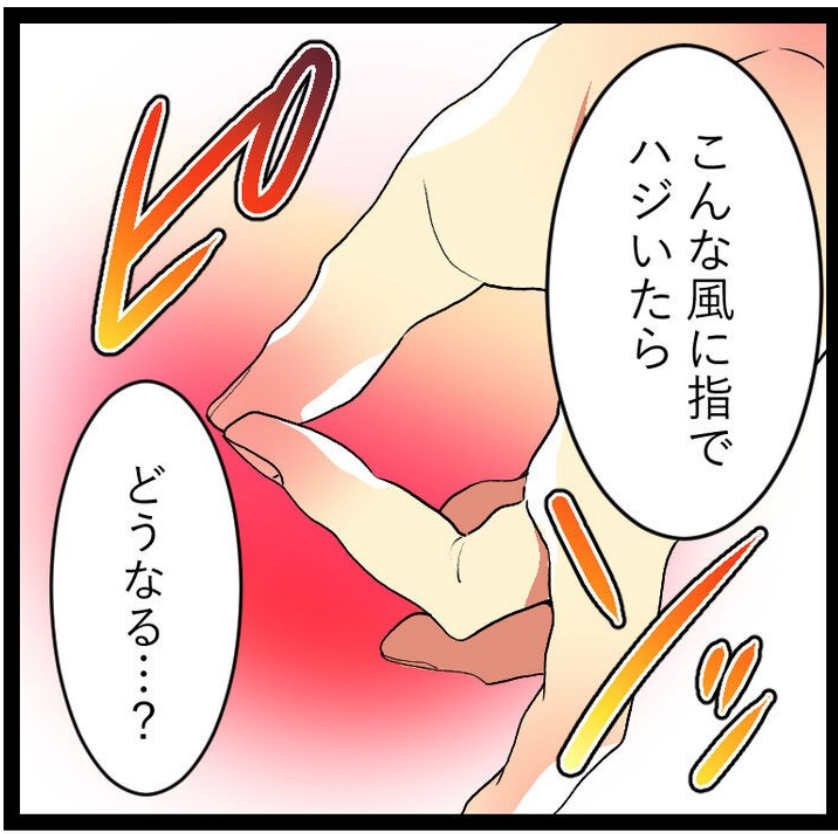
はあっ



ひん

クワッ
クワッ
クワッ







あ
あつ…

やつ…



じゃあ、
ここは？



は…♡

体の奥から変な感覚が
どんだん湧き上がってきて
ゾクゾクするう…

なに…これ…

…♡



あたし
耳たぶも弱いのに…

…♡

クッ
クッ



ずっと
こうしたかったんだッ

サナ、
すっげえエロい……!



やだあつ!

ああ……っ!

はあ……っ



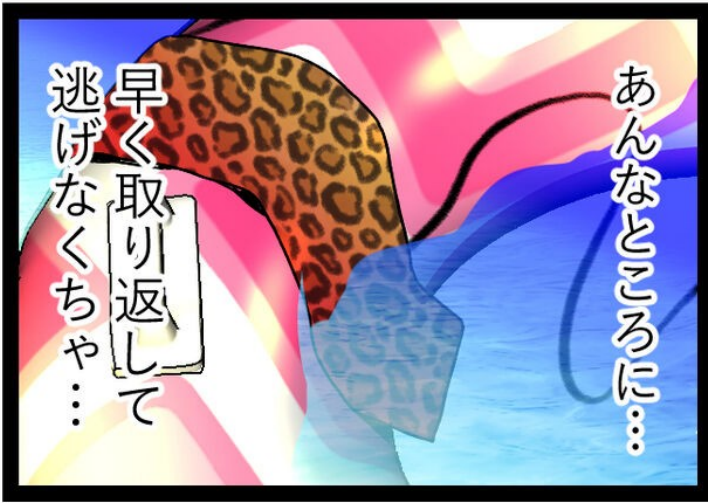
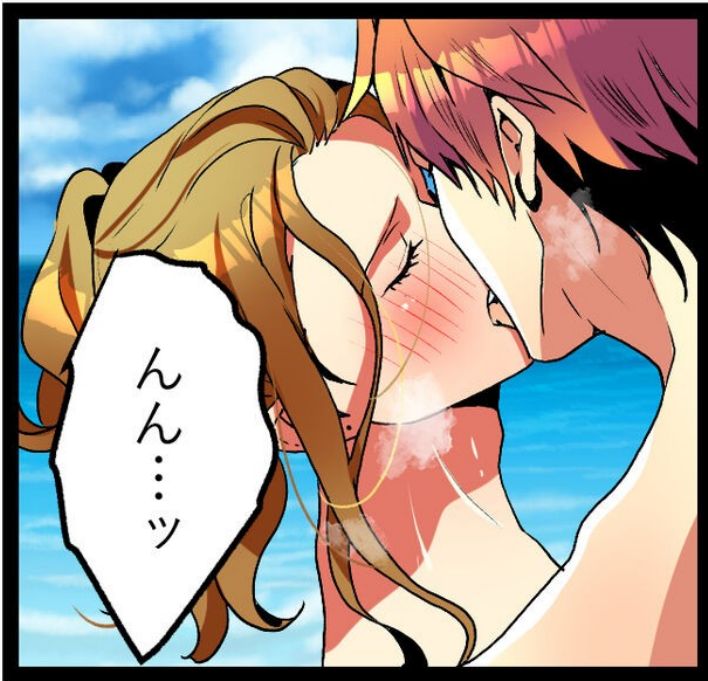
お尻に硬いのが
当たってるよお……

は……♡

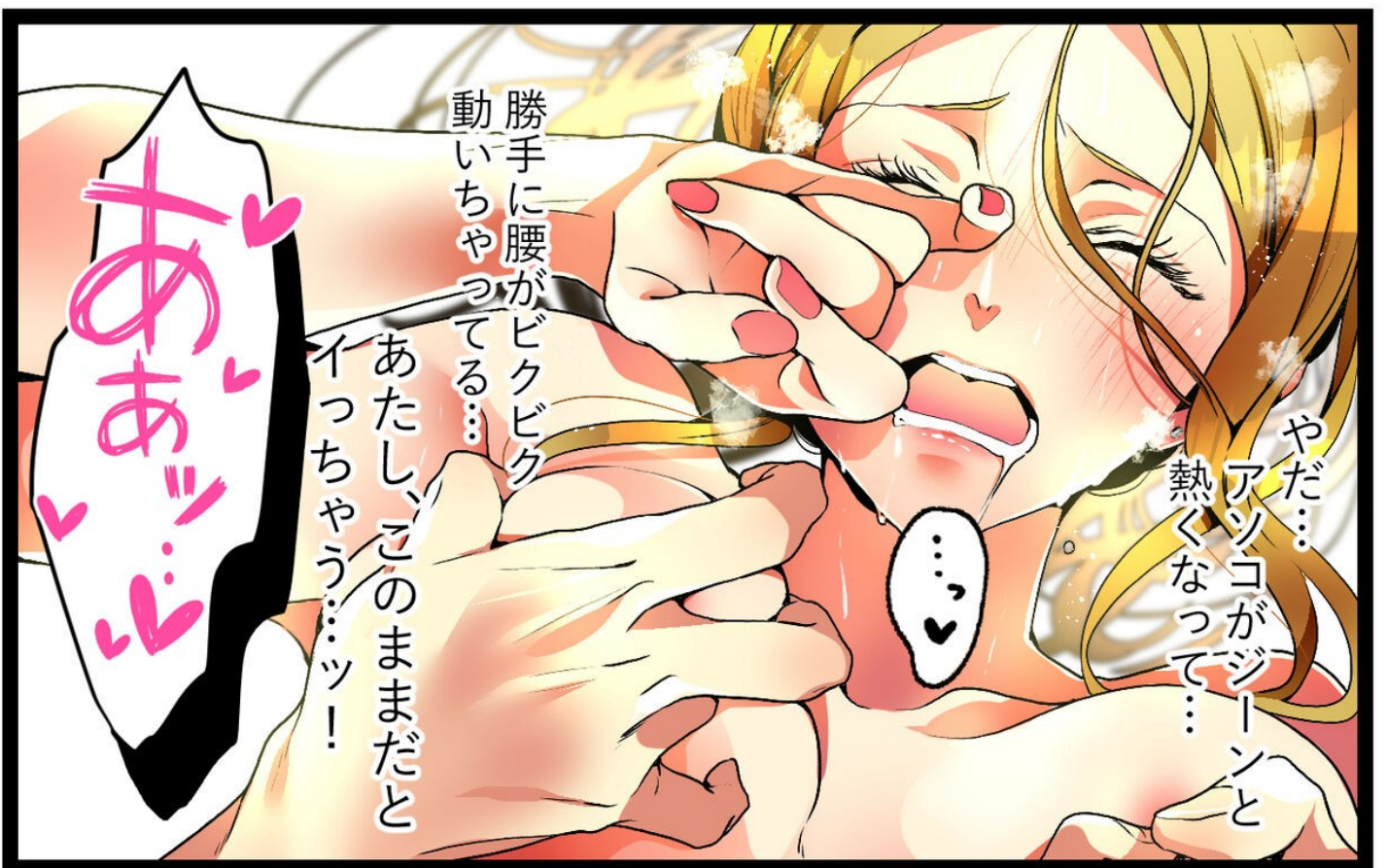


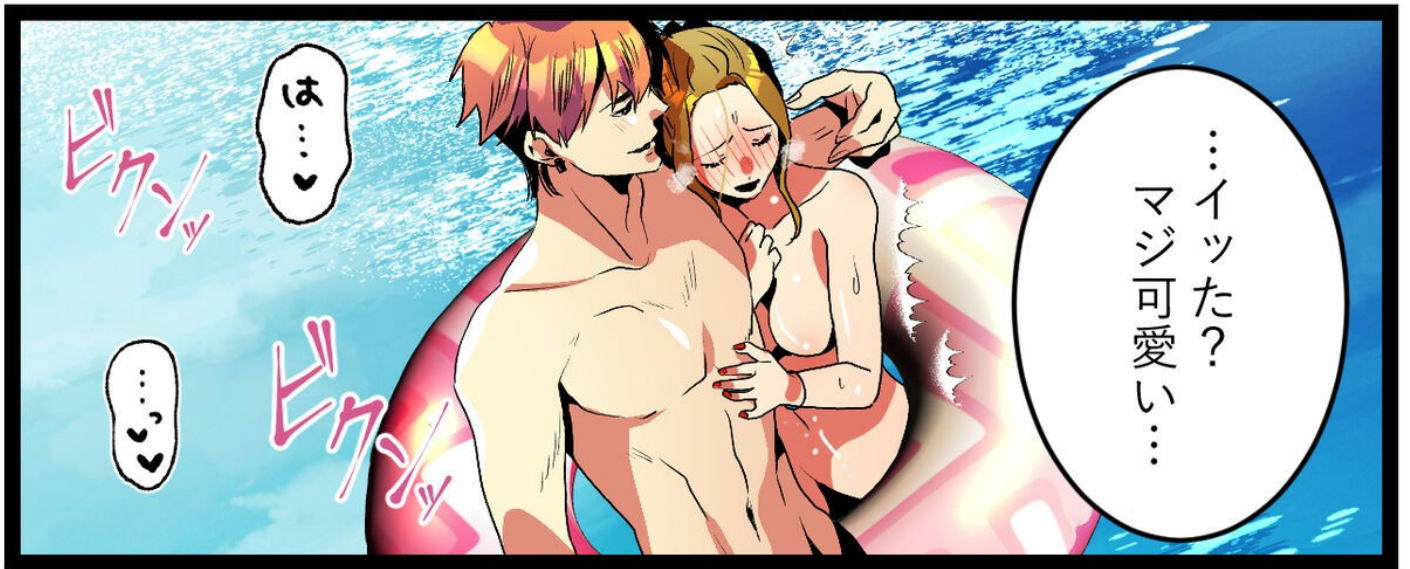
あつ……
これ……
シユン君の……?

グッ
……









…イッた？
マジ可愛い…

は…♡

…♡

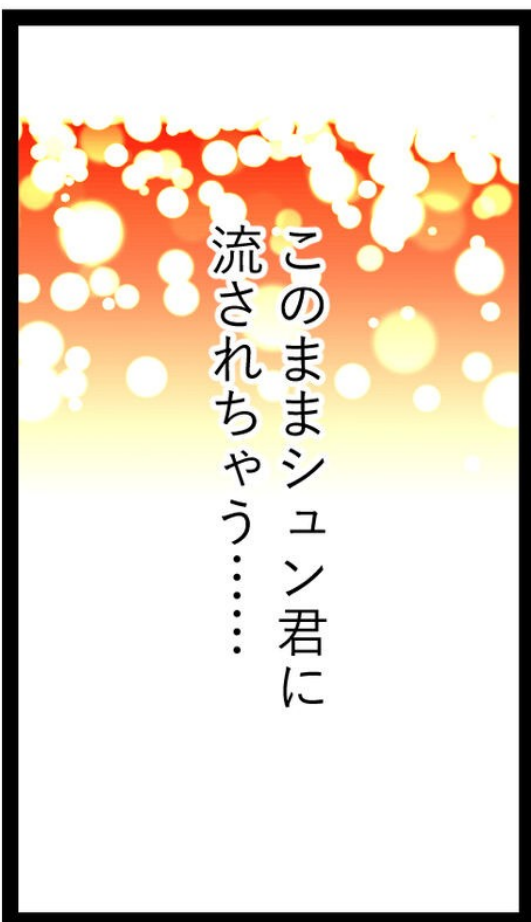
ビクッ



なあ、
もっと俺に
サナの事、
感じさせて？

は

は

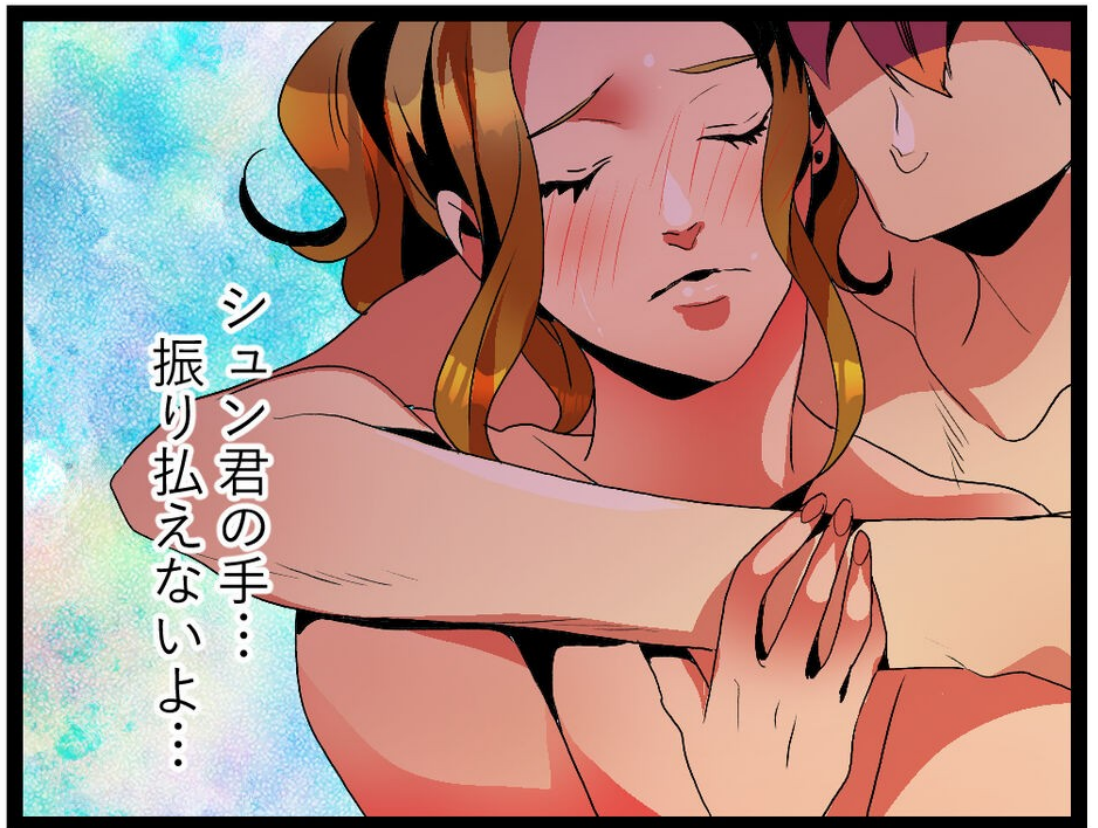
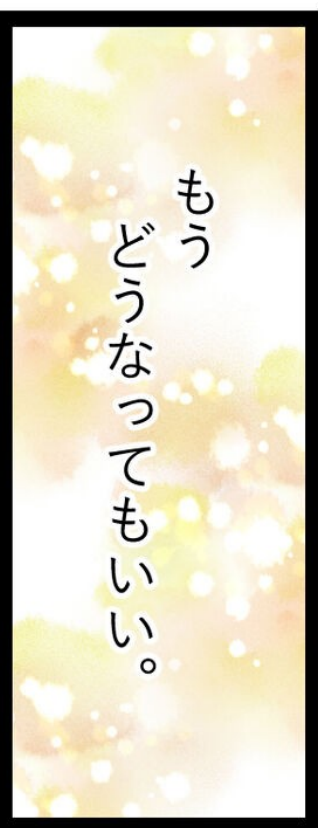
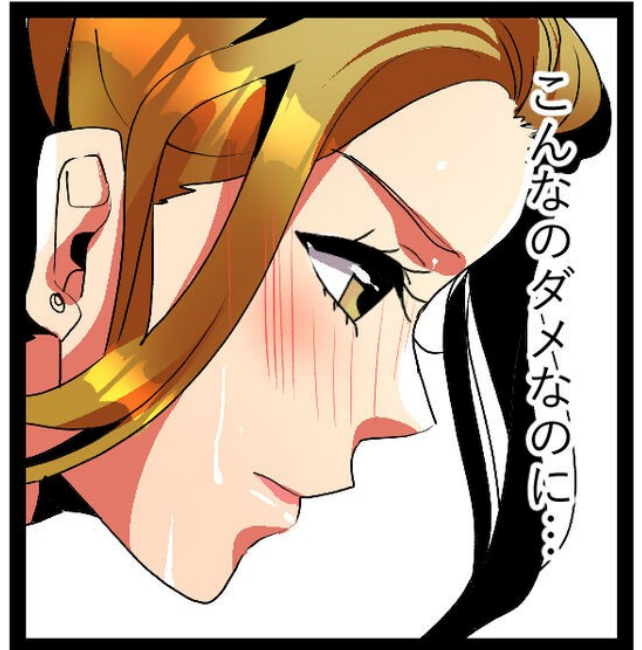
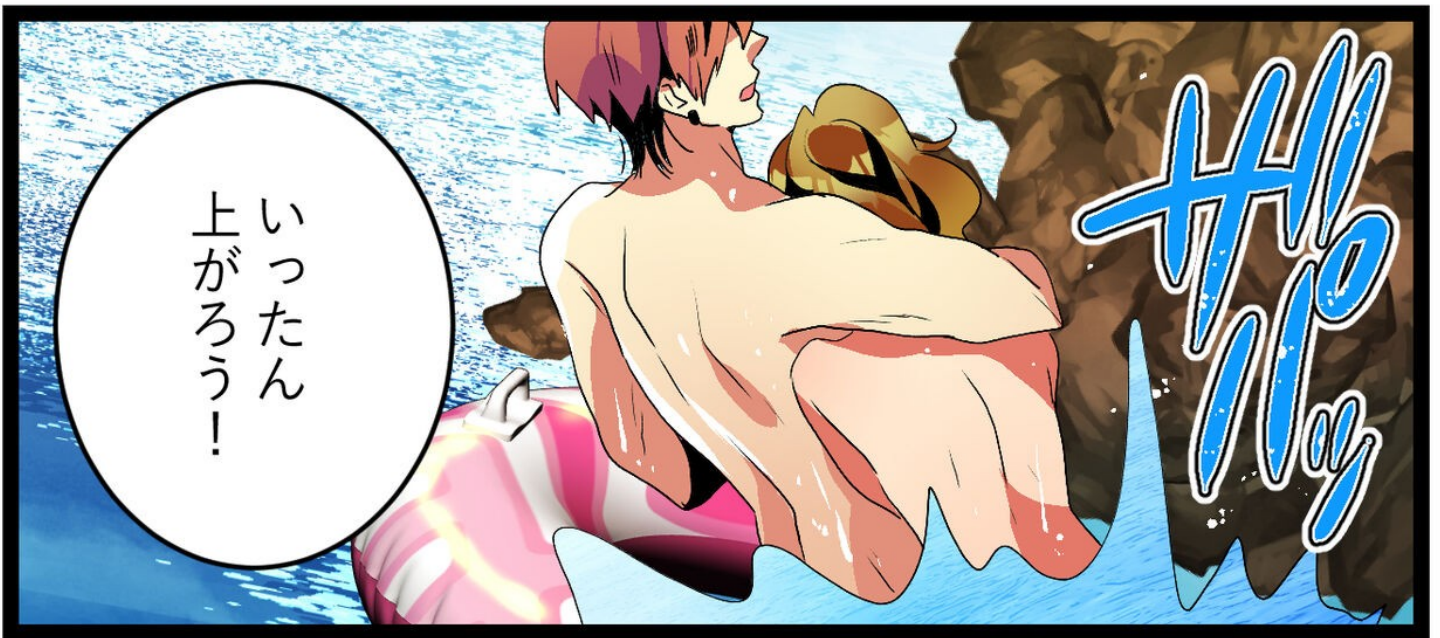


このままシュン君に
流されちゃう…



なにこれ…
もう分かんない…

ああっ…





もう他に
何も考えられない……。



もっと
触って欲しい……

今すぐシュン君の……



シュン君に促されて
大きな岩に上がりながら

これから起こる事への期待で
子宮がキュっとなるのが

自分でもわかった。

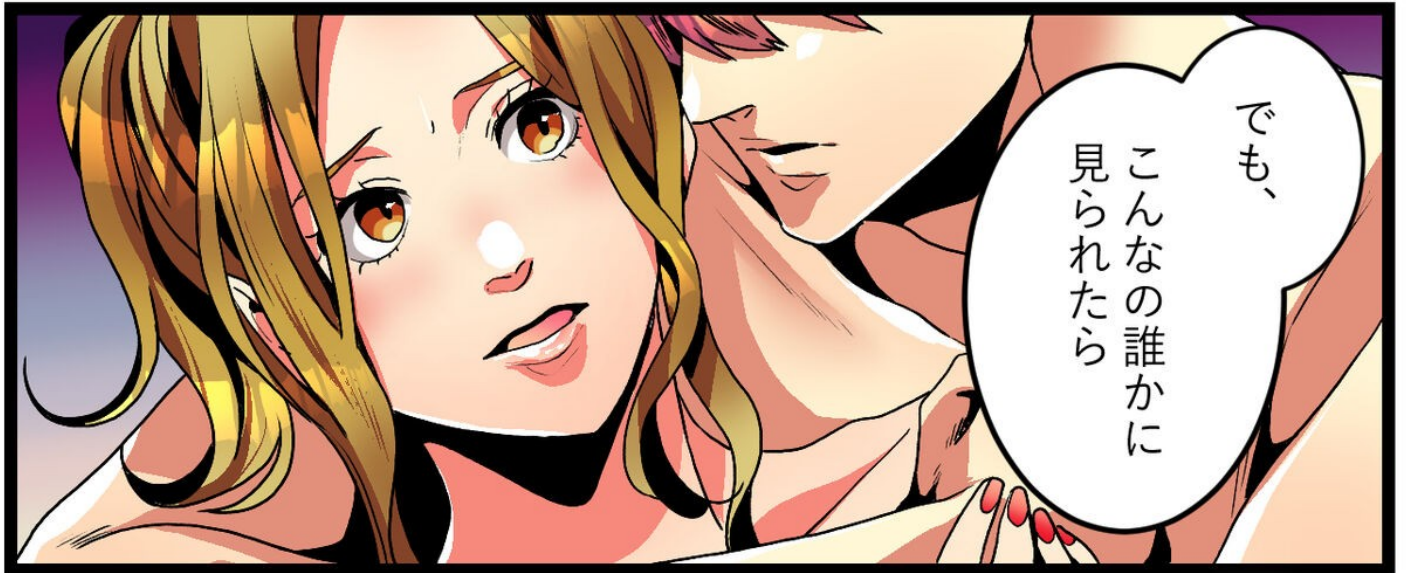
NTR

ギヤル。

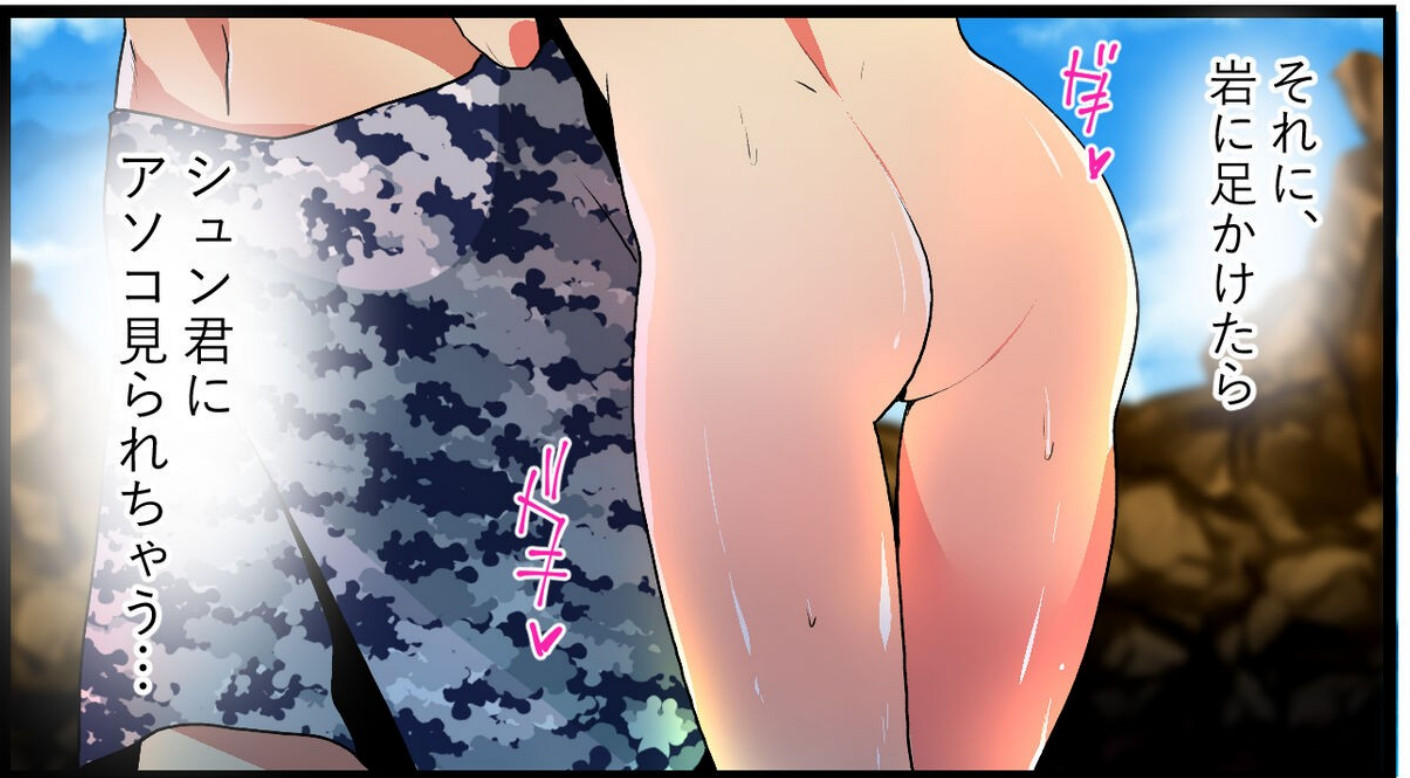


先
に
上
が
っ
て
…

え
っ
…
…
…



でも、
こんなの誰かに
見られたら



それに、
岩に足かけたら

シュン君に
アソコ見られちゃう…

ガッ
ガッ



う…ん。



もう待てねえ…

こんな沖まで
誰も来ないって！

それに
俺…



そんな切なげに
言われたら…

逆らえないよ

もう……

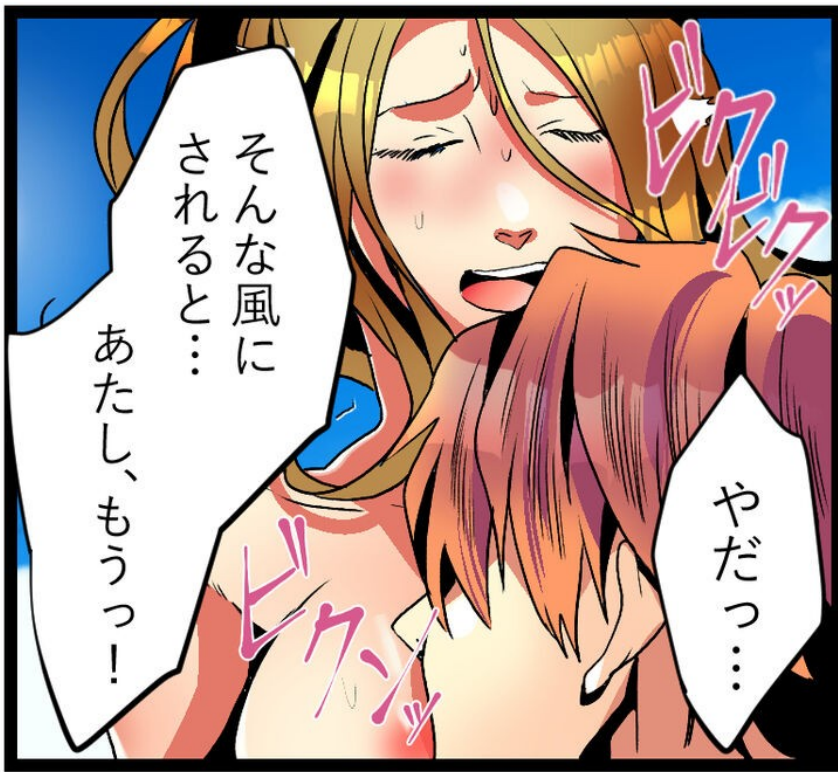


きつと視姦されてる。



あつ…
視線がねっとり
絡みついてくる…

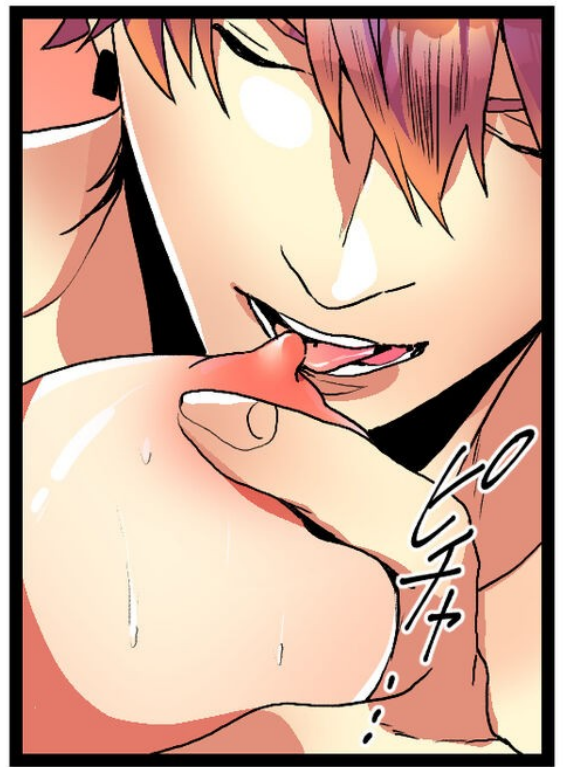




そんな風に
されると…

あたし、もうっ！

やだっ…



どろり



ひゅんっ…
そんな…とこっ!!

はあっ…
んっ

へえ
じゃ、
こっちは？



へろ…
サナ、俺に
どうして欲しい？

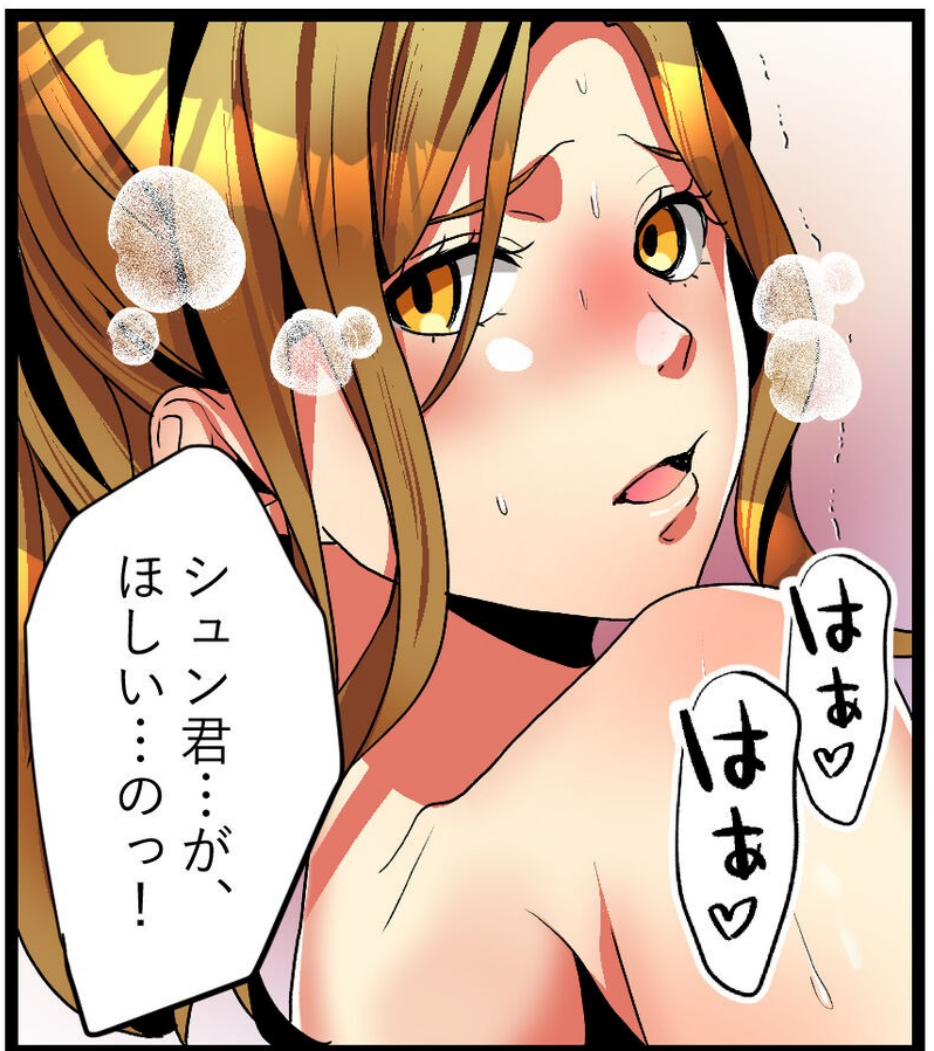


なんだ、
もう感じまくって
んじゃん…



…サナ
すっげえ
エロい……

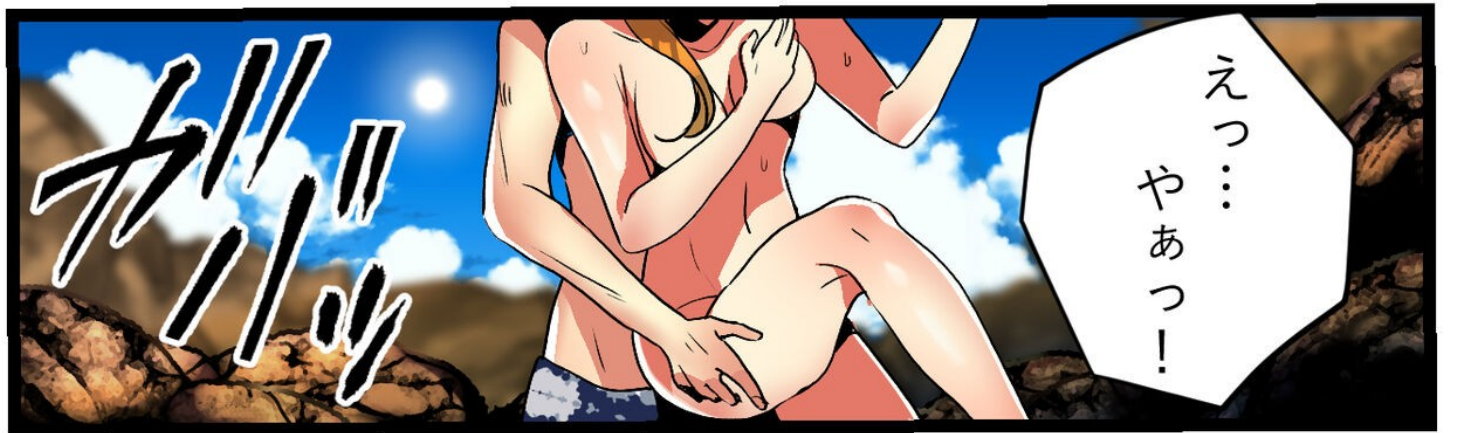
俺も、我慢
できねえ……



シユン君……が、
ほしい……のっ！

はぁ♡

はぁ♡



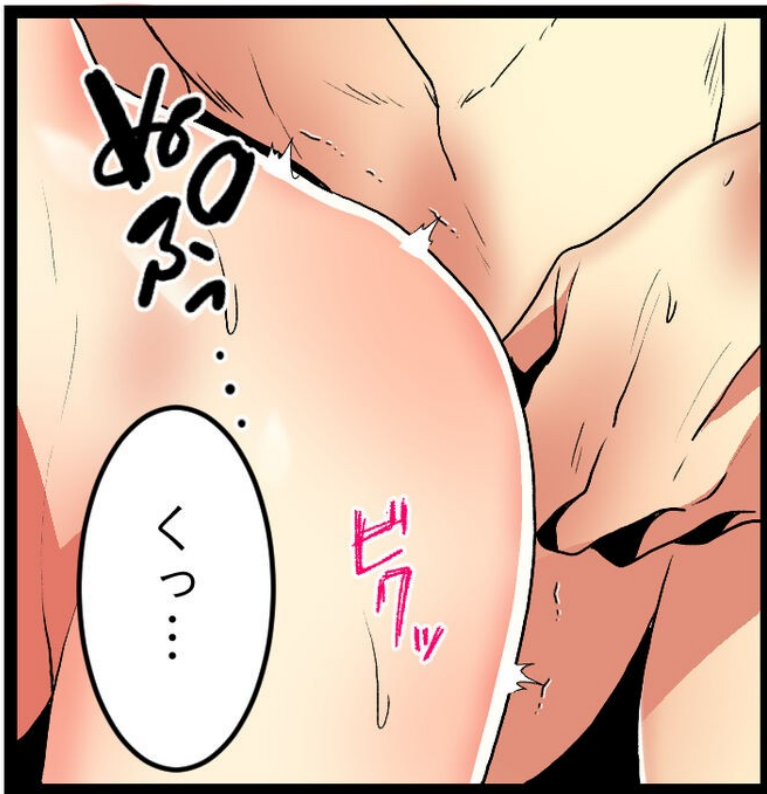
えっ……
やあっ！

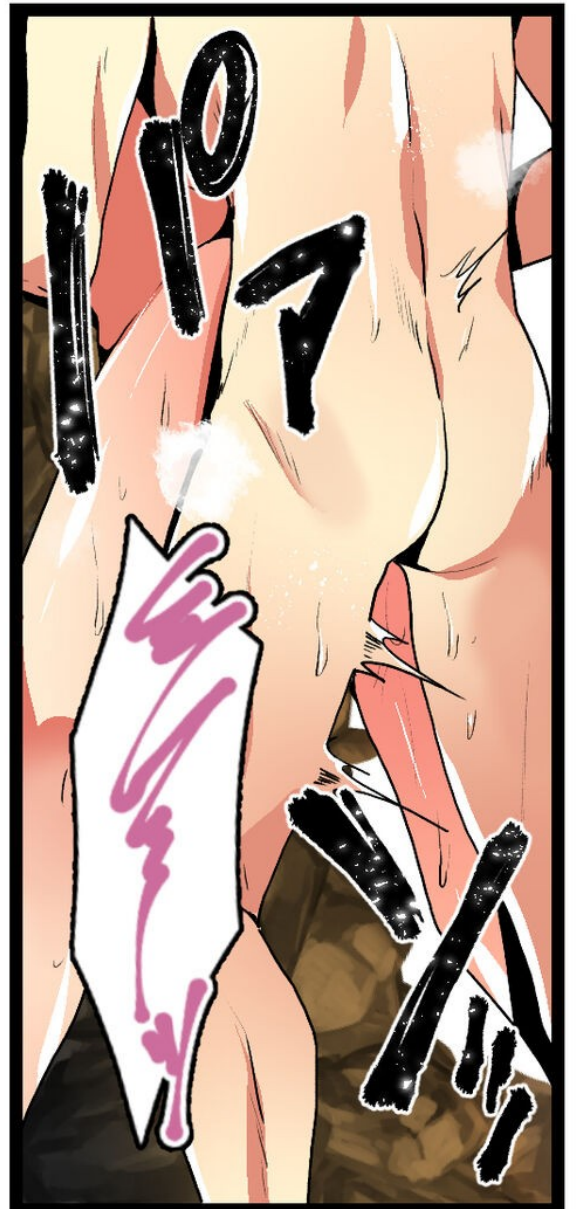


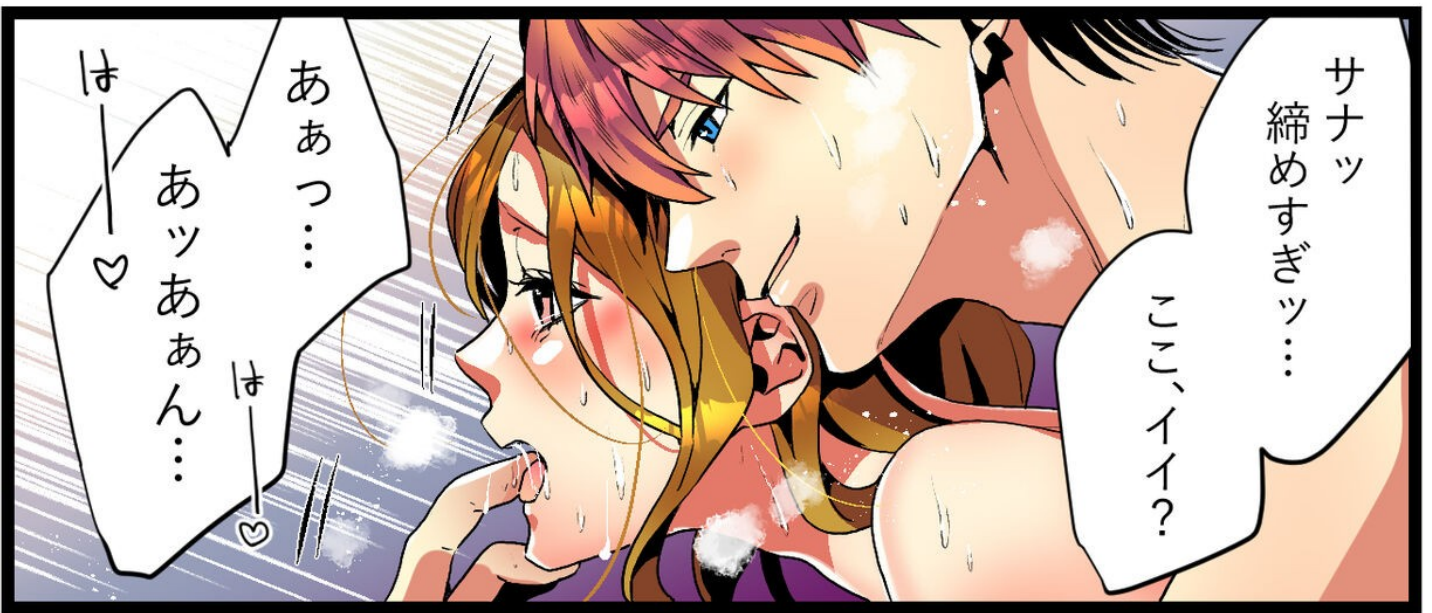
こんな恥ずかしい体位、
ユウヤとだっつけてしたこと……

こんなのダメなのに……

でも、早く欲しい……









ああッ…

ユウヤと全然違う…

ほんっ
ほんっ

ほんっ

揺さぶられるたび、

背筋がビリビリってなって
声が止まんないよお。

ピク
ピク
ピク

ん♡♡



ヒクッ
ヒクッ

なッ
なに、コレえ…?

あ♡♡♡
ん♡♡♡



へんな感覚が
湧き上がってくるっ



ああッ…

あッ、
んっ…

…あっ、
中でドクドクして…
またおっつきくなった…



イケよ、ほらッ!

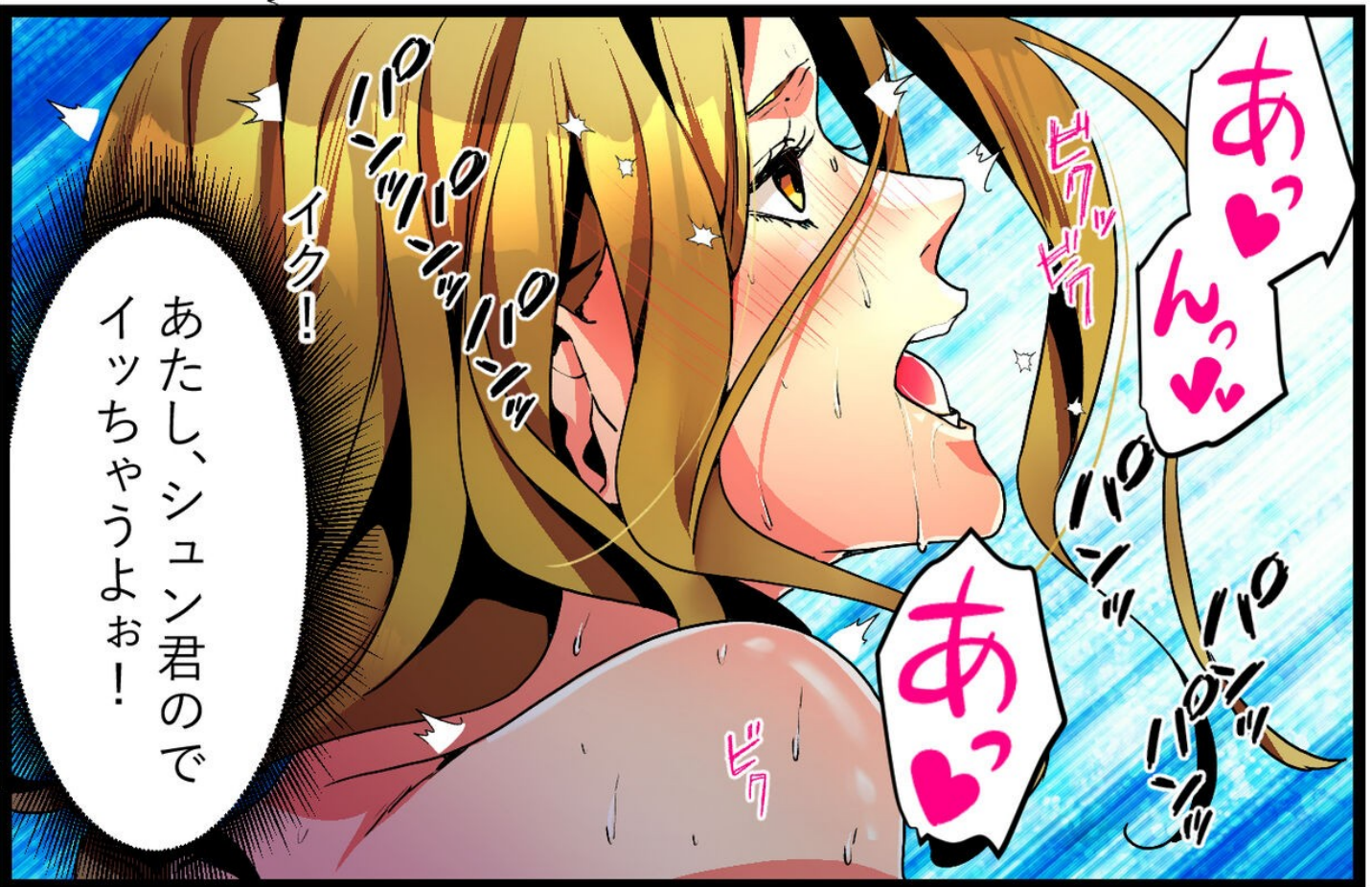
いっ
ちゅ
いっ
ちゅ

サナがイクとこ、
見といてやるから…

イツちまえッ!

やっ…怖いっ…

いっ
ちゅ



あ
ん
ん

び
び

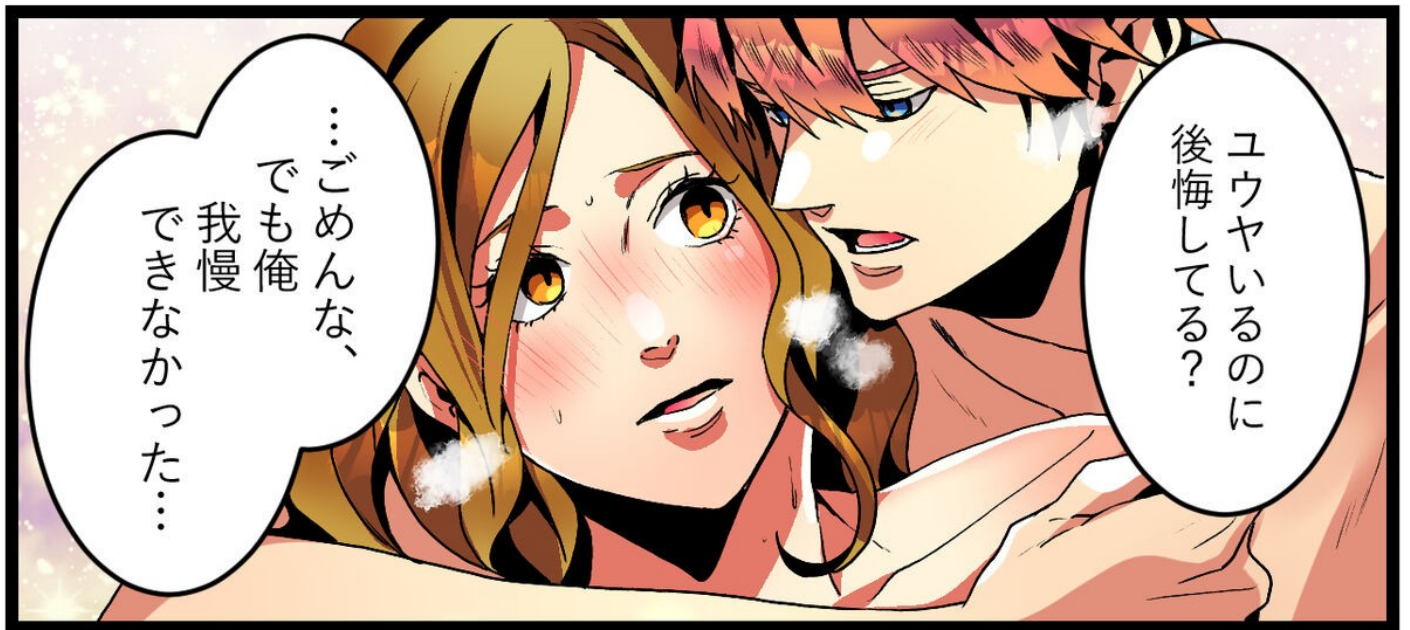
あ
ん

イク!

あたし、シユン君ので
イツちやうよお!







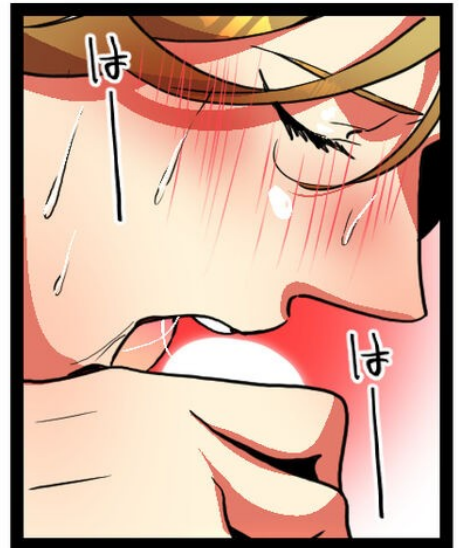


あっ

シユン君、
また大きくなって…



あたしに興奮して、
欲しがってくれてるの？



は

は



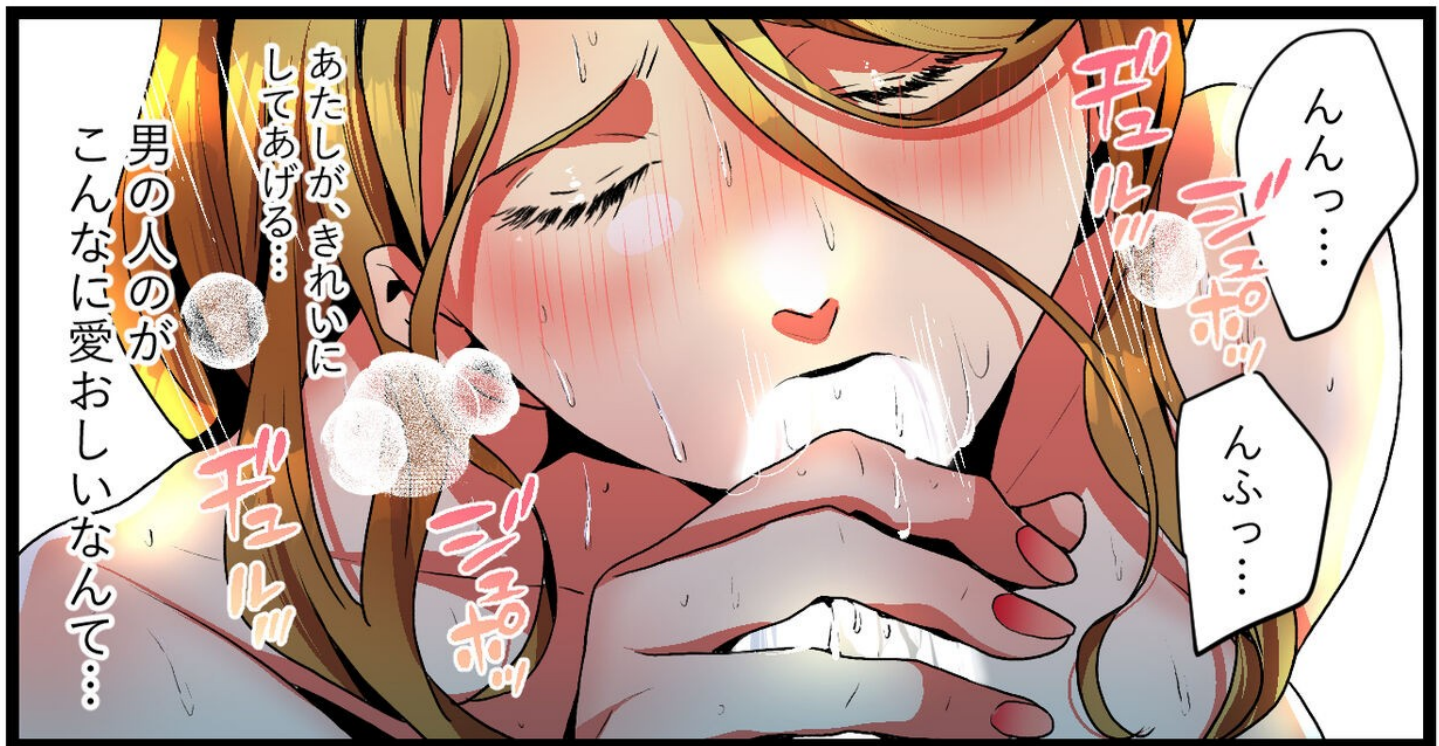
うっ…

くッ

サっ

サナ…

やべえ、
口ん中も気持ち
良すぎっ！



んんっ…

んんっ…

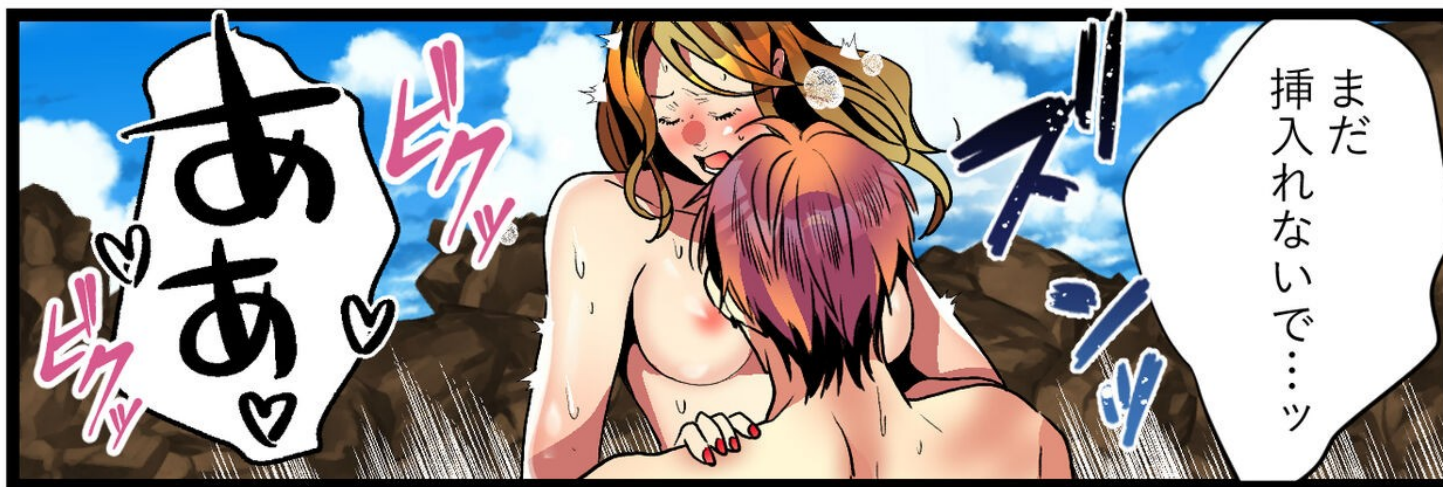
フェルッ

フェルッ

フェルッ

あたしが、きれいに
してあげる…
男の人のが
こんなにあおしいなんて…







ホントはこんなの
ダメなのに……

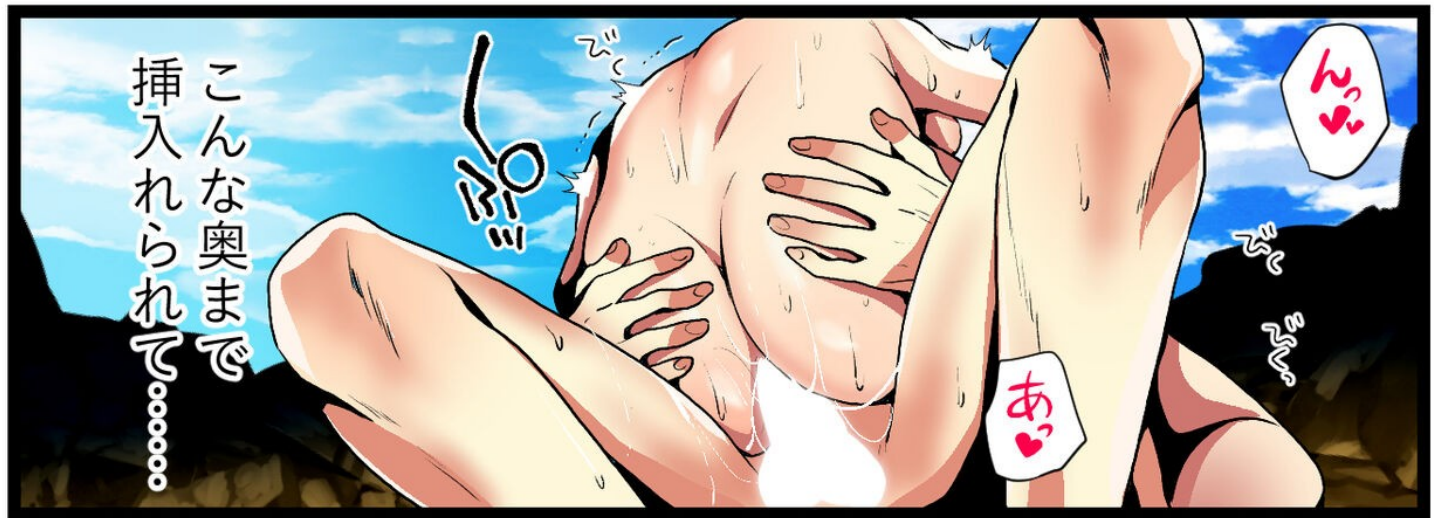
シユン君にはただの
遊びかもしれないのに……

……♡

はぁ♡

……♡

はぁ♡



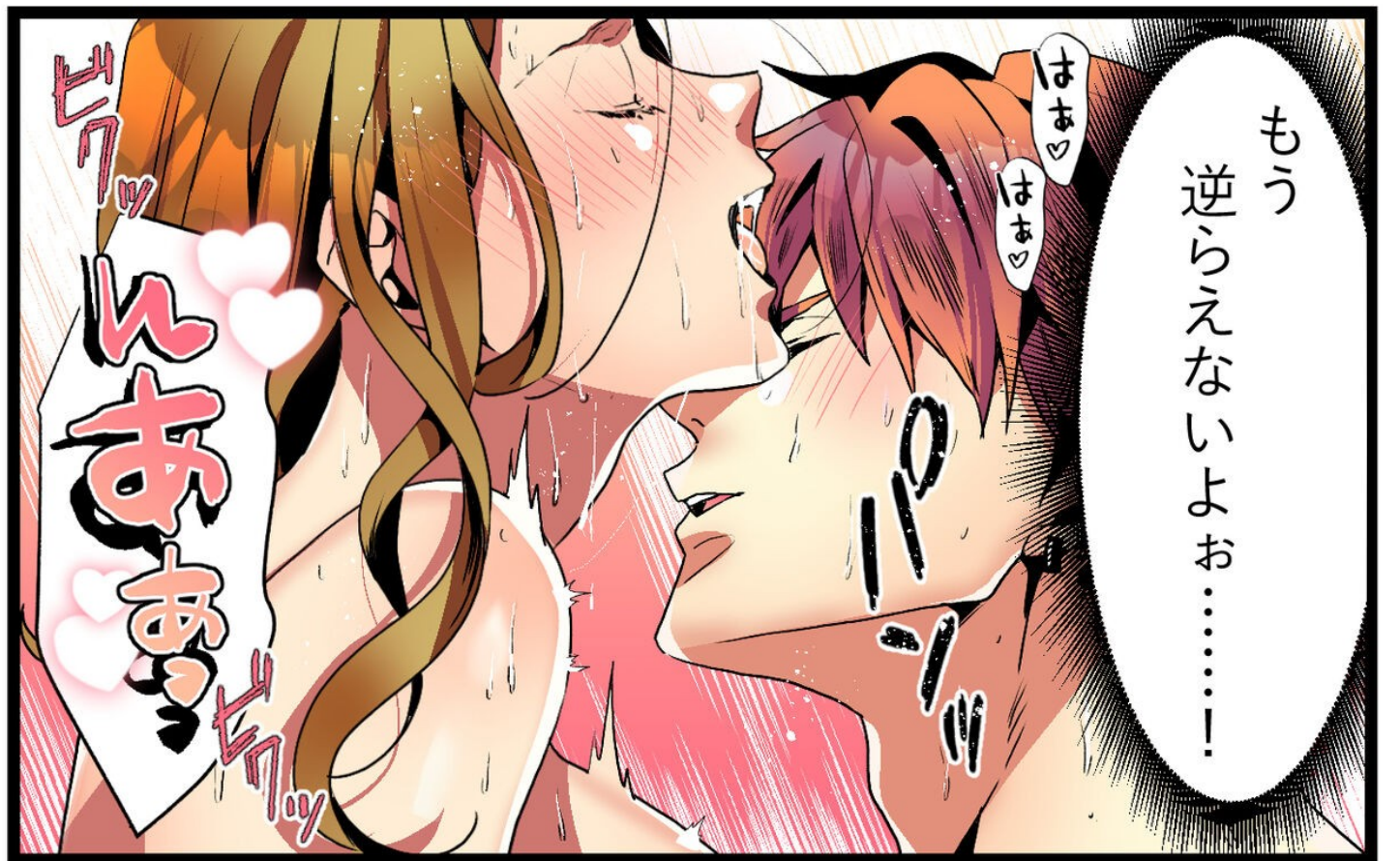
ん♡♡

ぞくぞく

あ♡

ぞくぞく

こんな奥まで
挿入れられて……

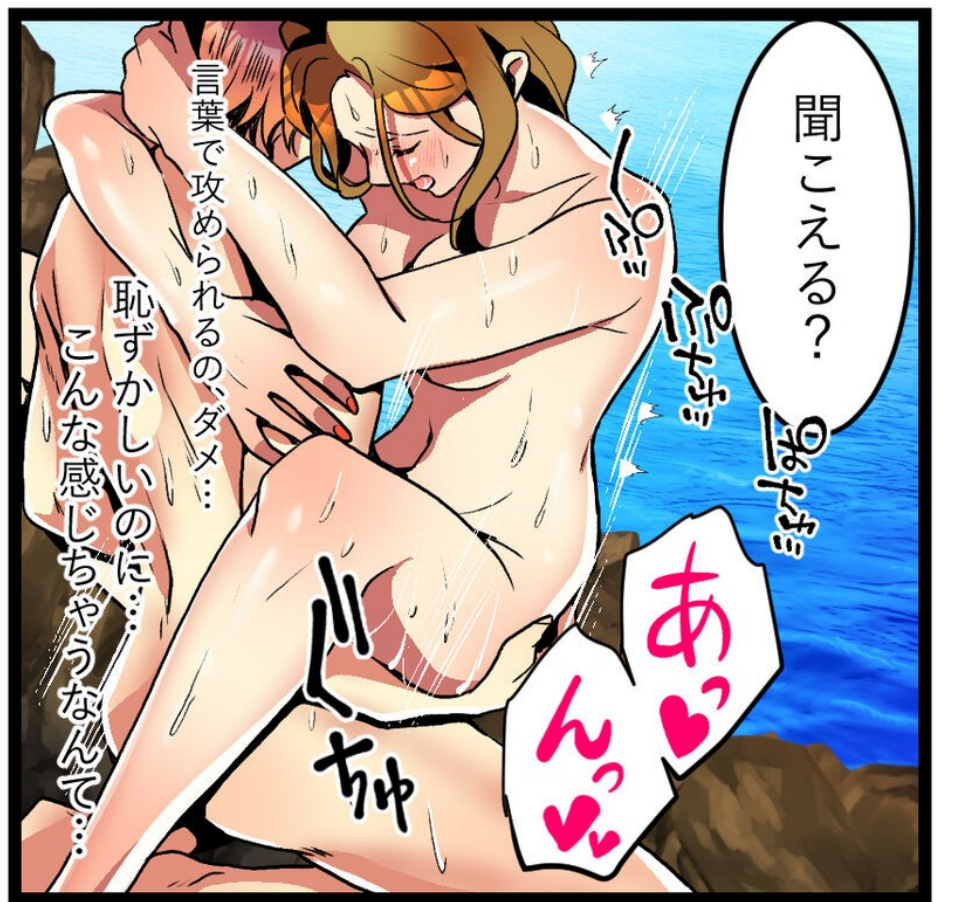
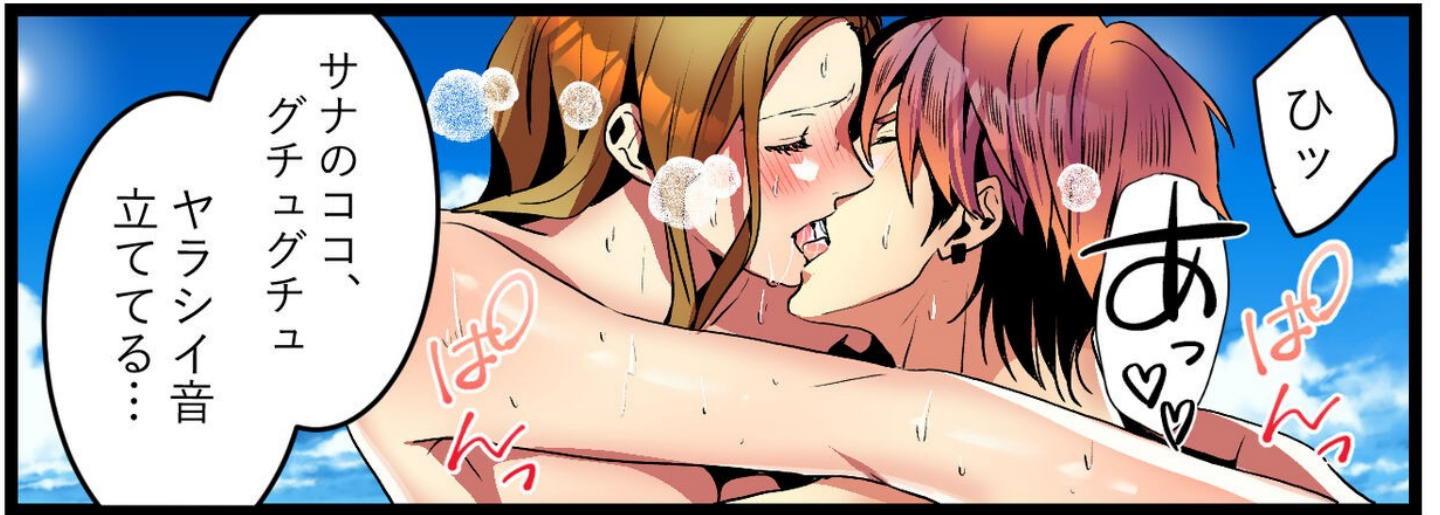
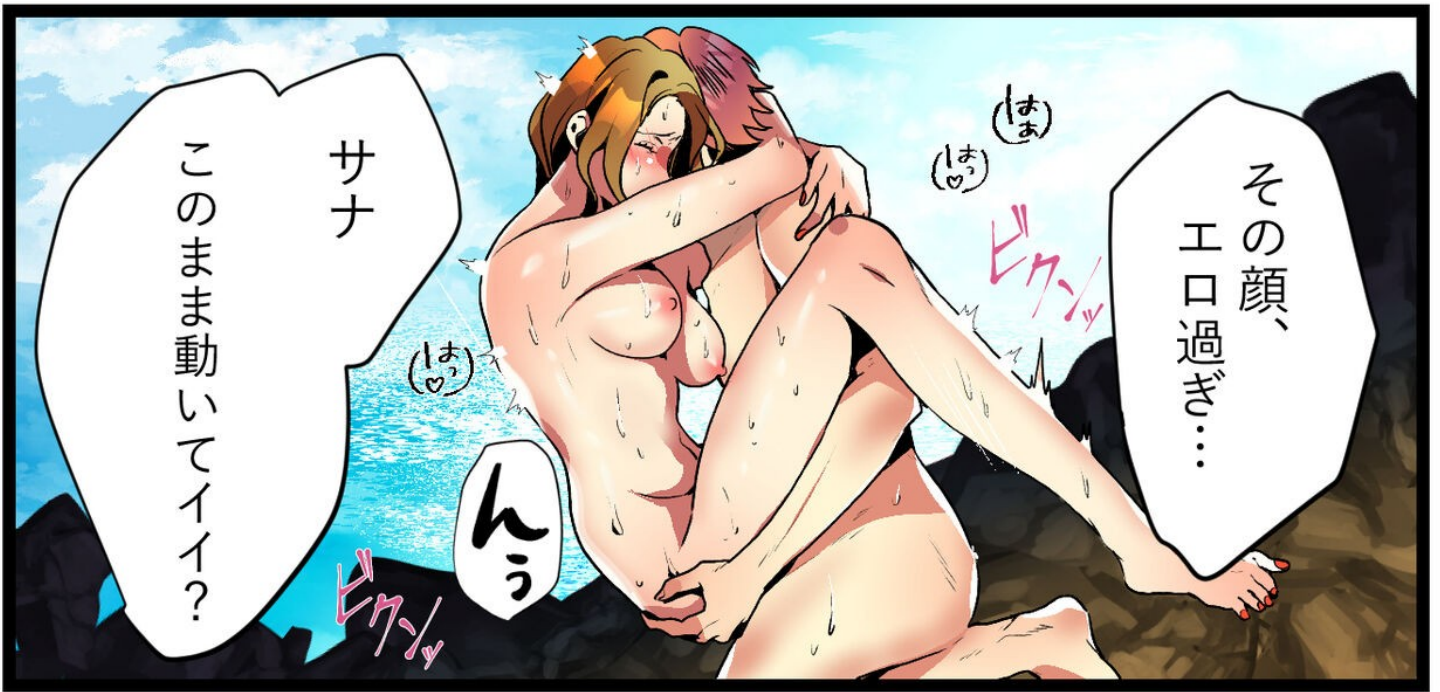


もう
逆らえないよお……!!

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡







お前、ドMだな…

エカ



やあ…ツ
あッ!

縛られて…

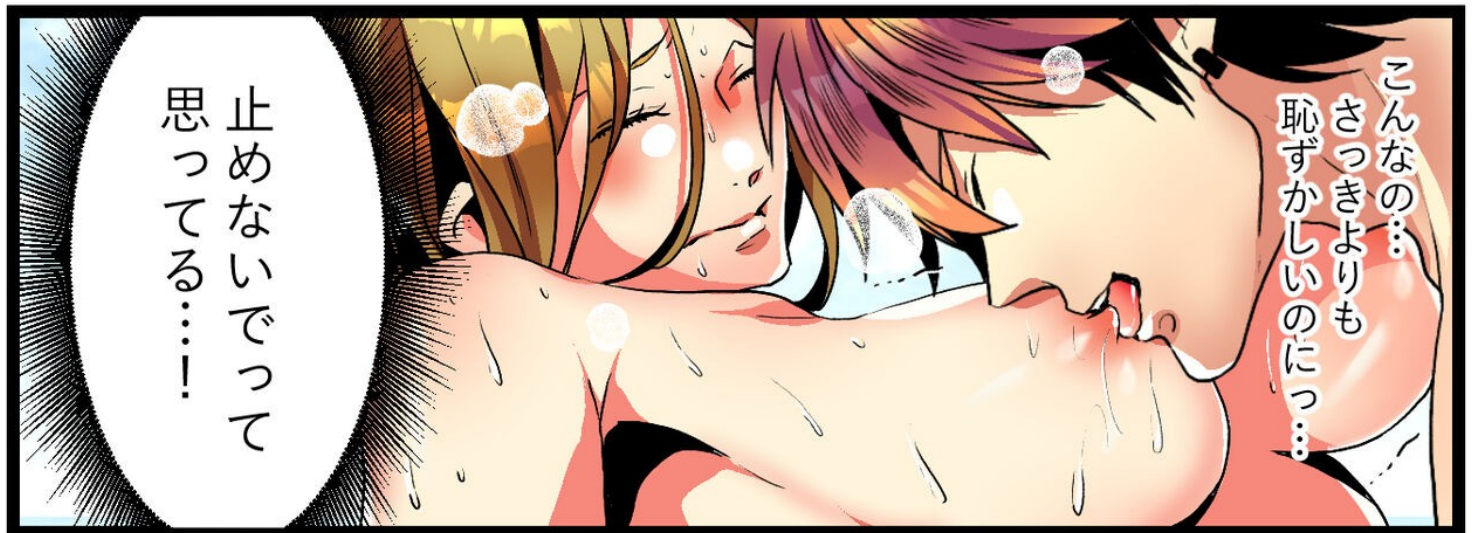
デカイオツパイ突き出して
興奮してんの？

はぁ♡

はぁ♡

エッ

エッ



こんなの…
さつきよりも
恥ずかしいの…

止めないでって
思ってる…!!



サナ、エロ過ぎ!

中、すっげえ熱い…

縛られて胸いじられながら
突かれるの、好き?

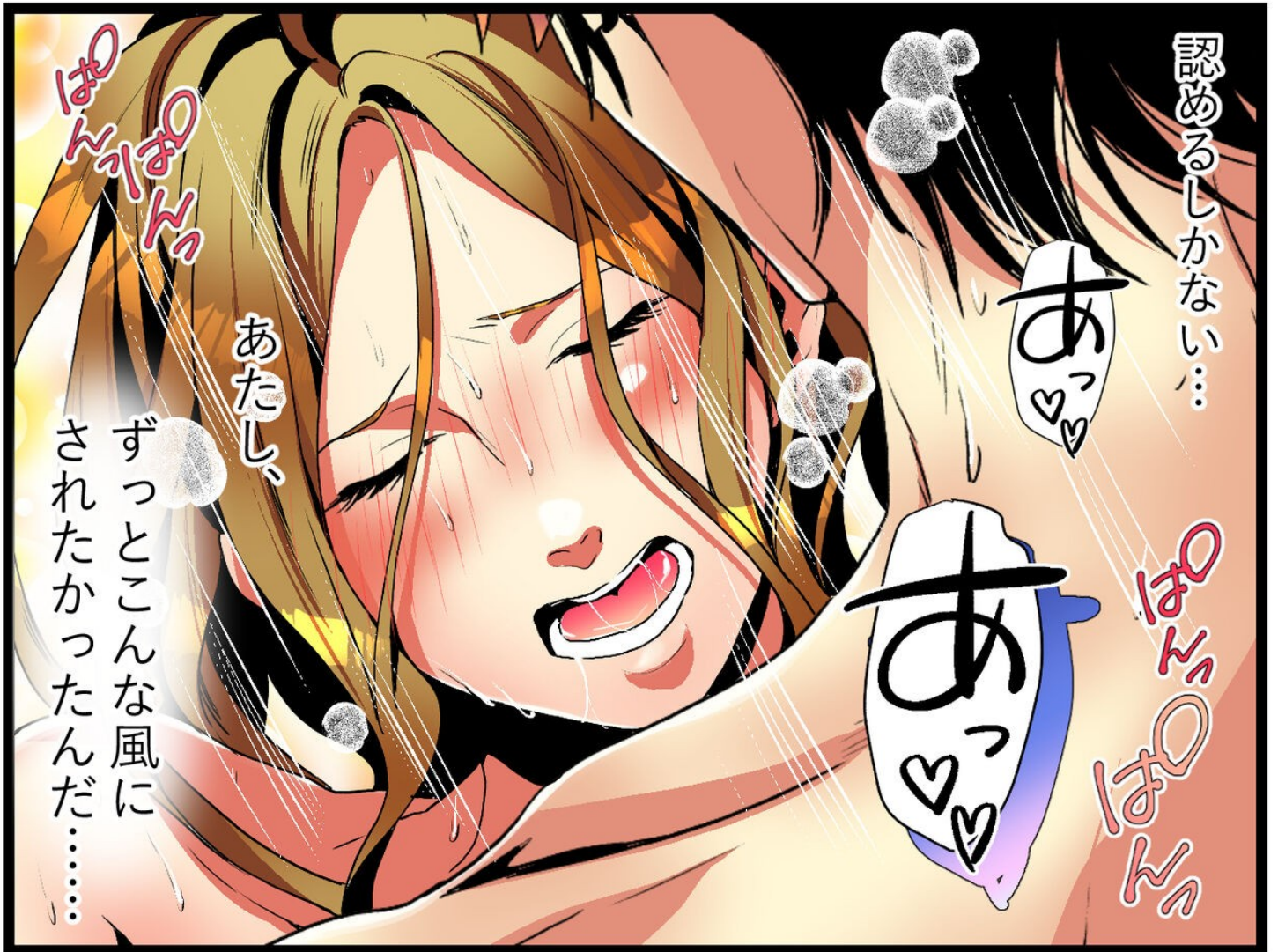
あ♡

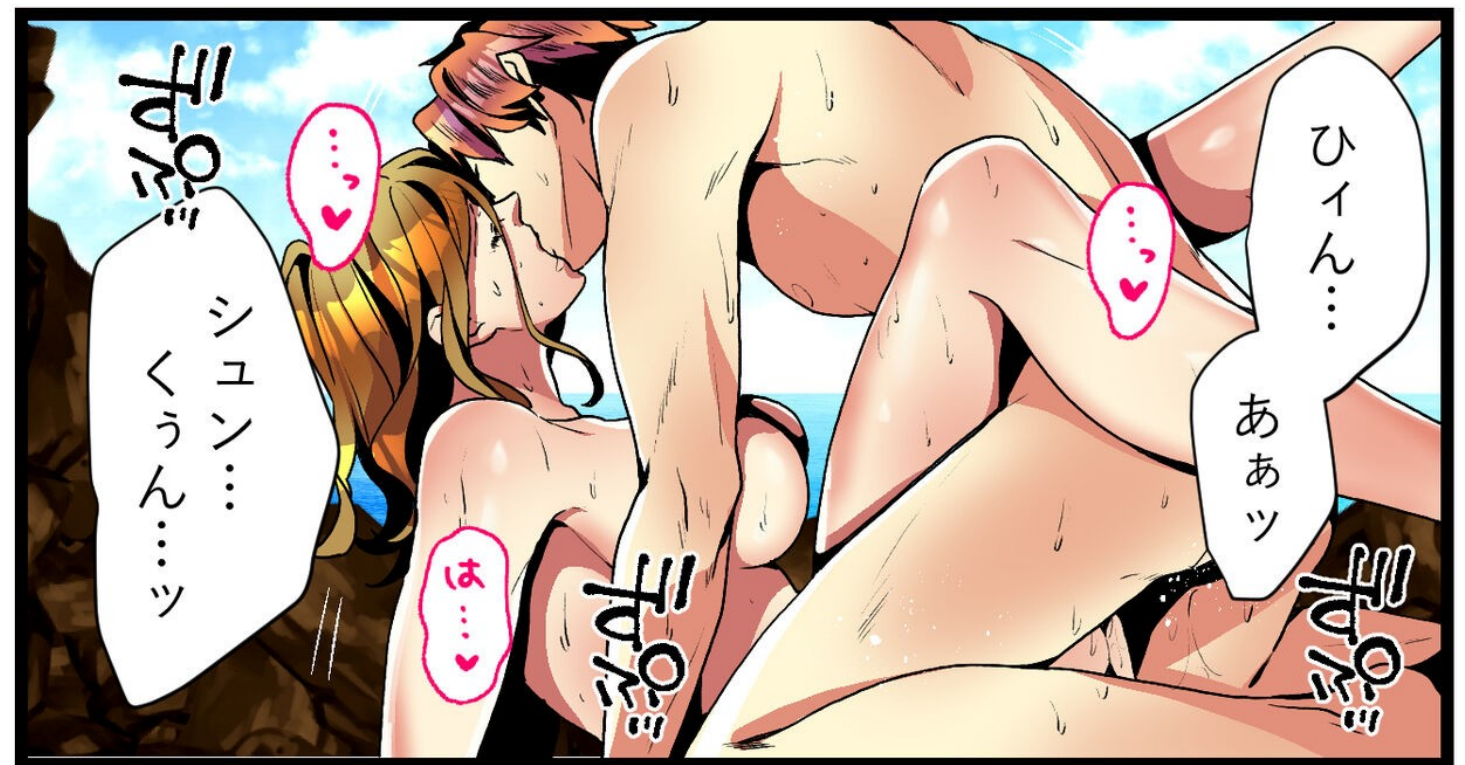
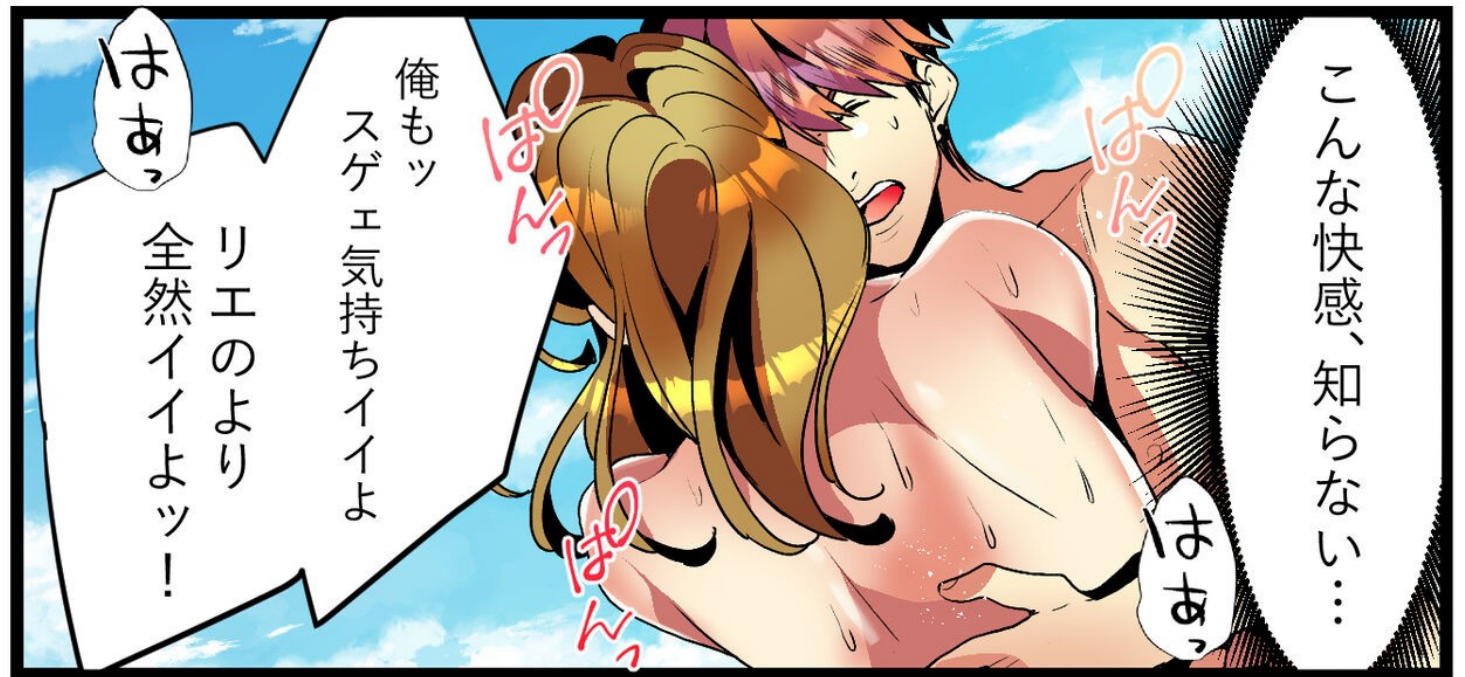
ほん♡
ほん♡

あ♡

ほん♡

ほん♡







あッ…

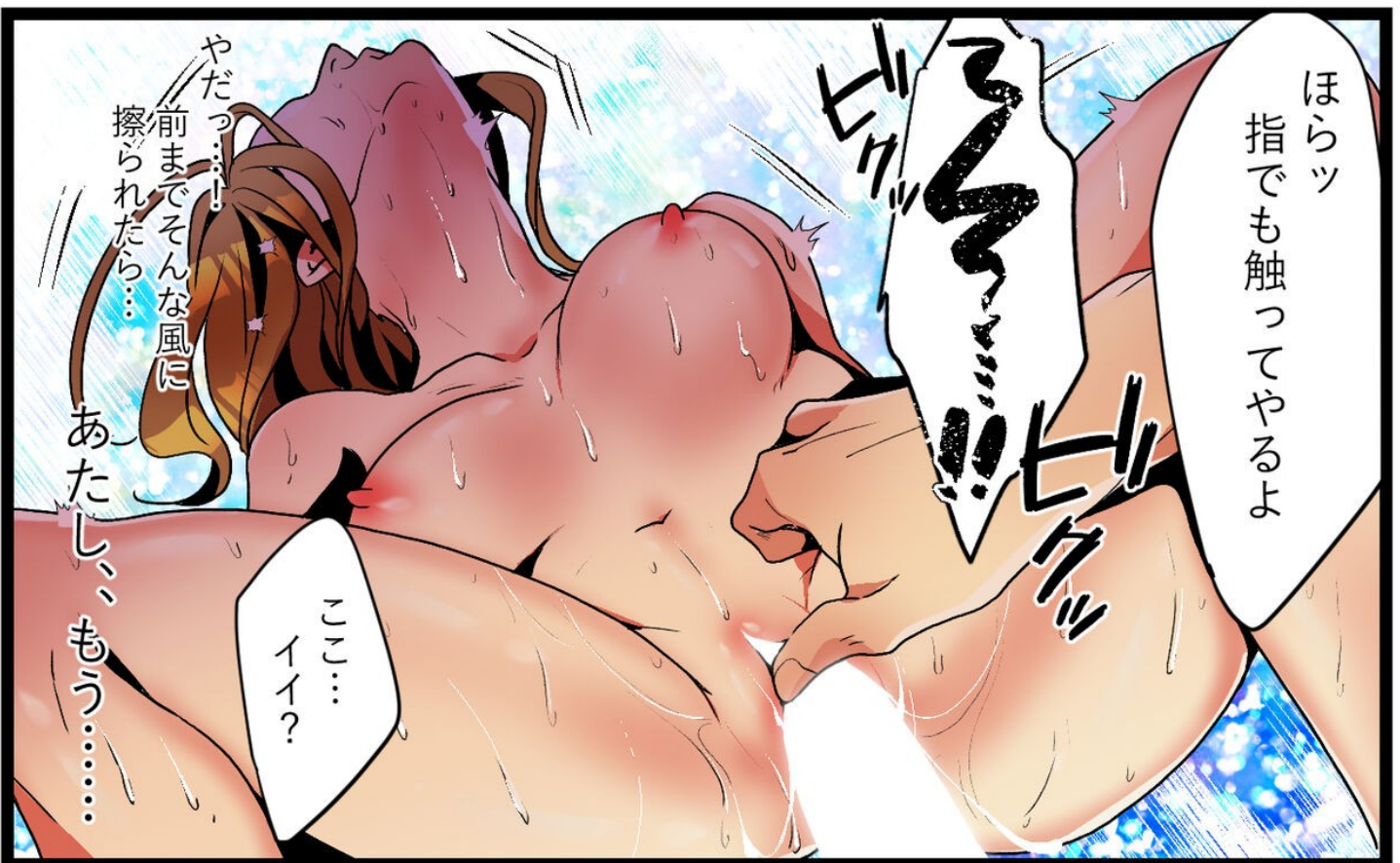
そこはっ!



ほら、自分から
腰動かせよ!

もっとよく
なりたいんだろ?

んっ♡
あ♡



ほらッ
指でも触ってやるよ

やだっ…!!
前までそんな風に
擦られたら…

あたし、もう…

ここ…
イイ?

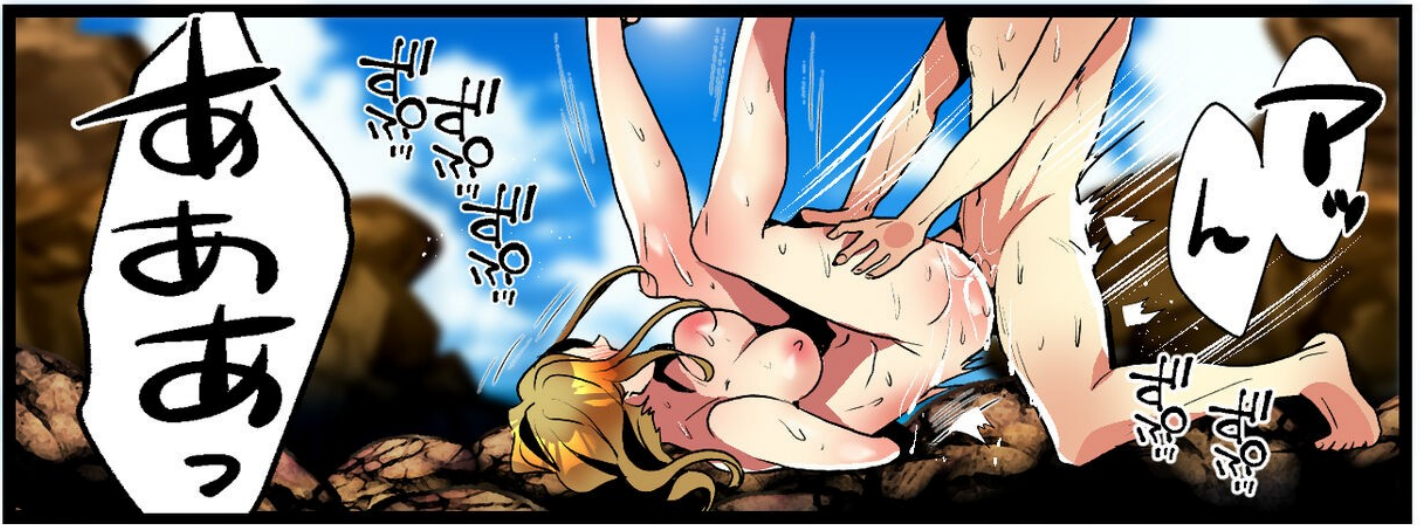


くッ…
サナ…

気持ちイイ？

もつと奥まで
突かせてっ！

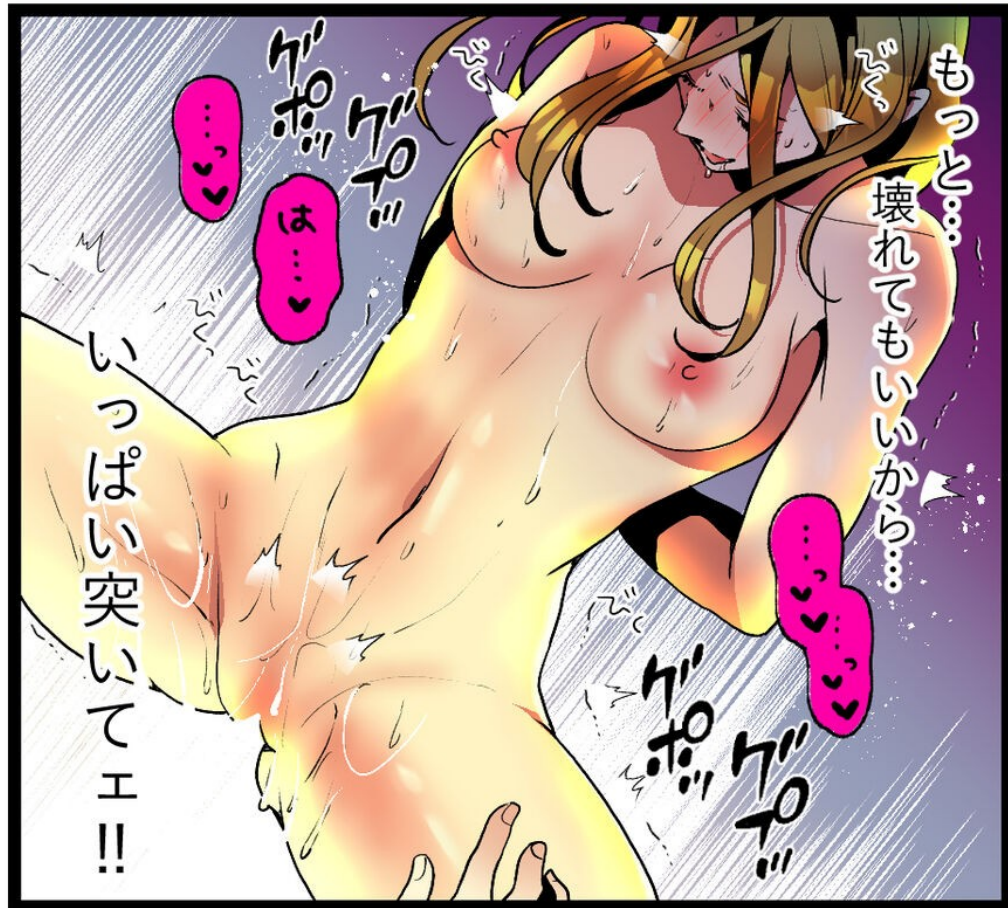
く…ッ



あああ

フッ
フッ
フッ

ん
フッ
フッ



もつと…

壊れてもいいから…

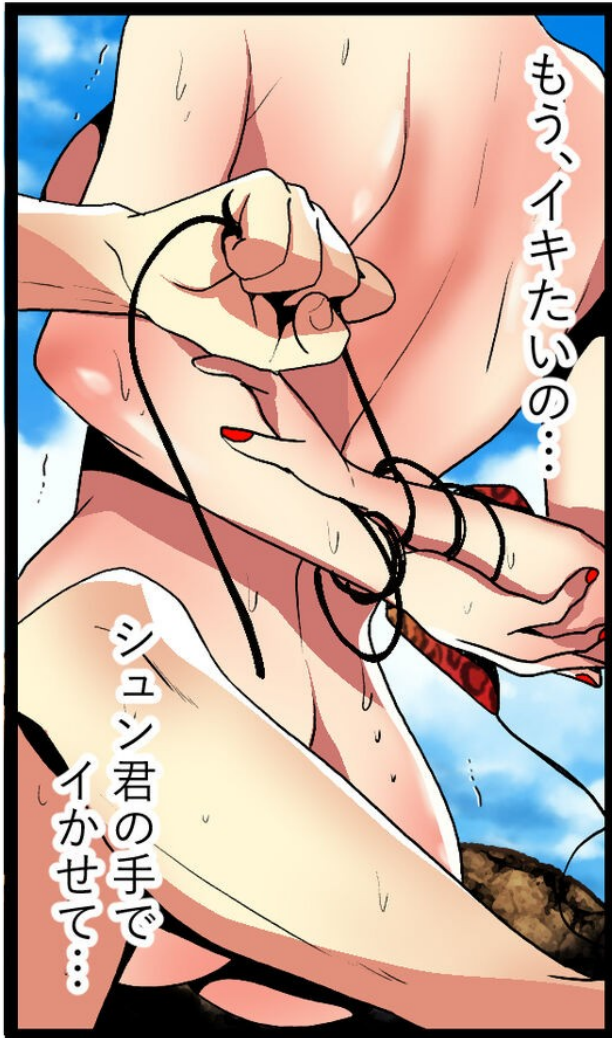
は…

いっぱい突いてエ!!



シユン君、
スゴイよお…

ビクッ
ビクッ
ビクッ



もう、イキたいの…

シユン君の手で
イかせて…



サナ…
もうイキたい？

サナン中、
俺に絡みついでくる…

うんっ



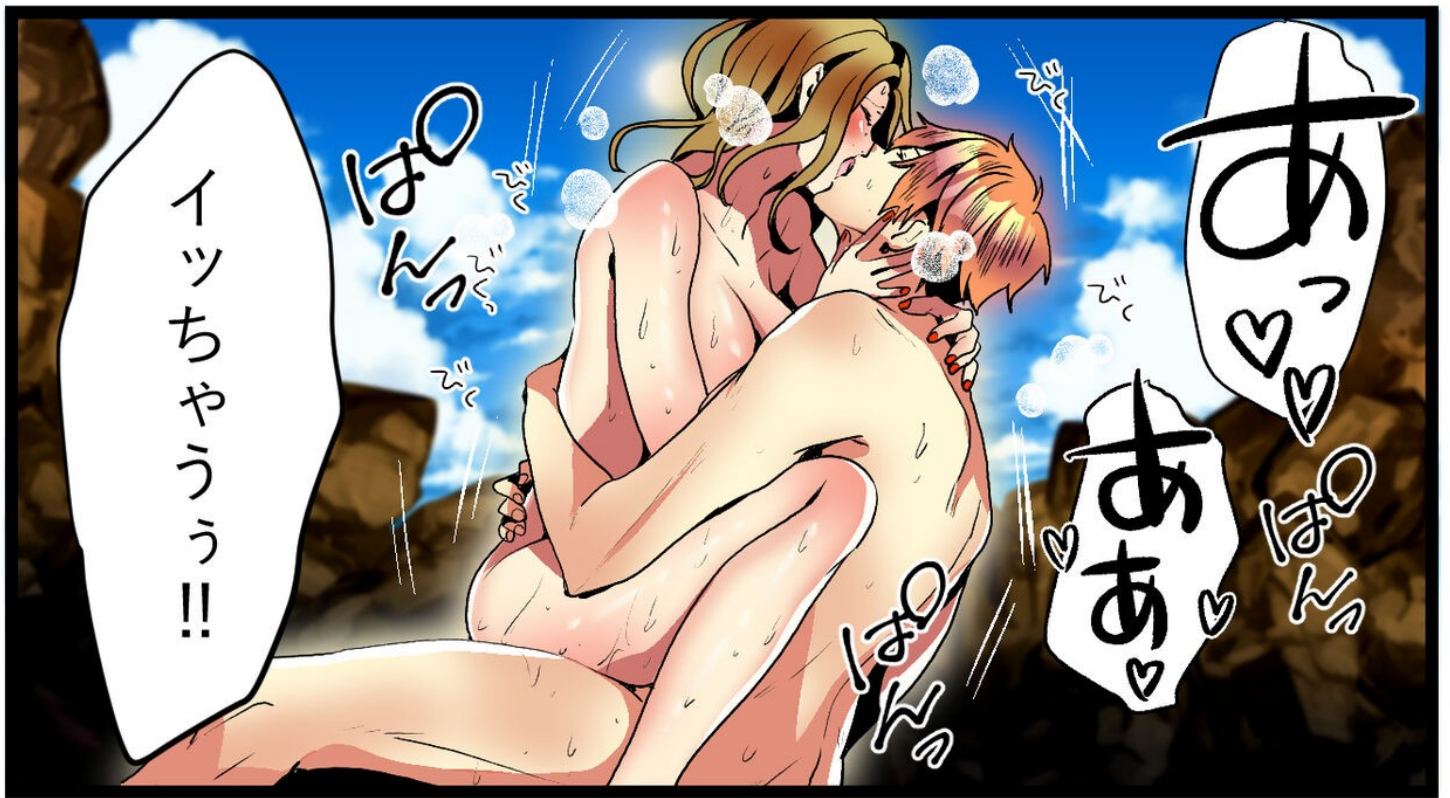
くツ…
締まるツ!!

あ♡
ほんっ
あ♡
ほんっ
ほんっ



お願い!

背中到手、
回して…
そう…



イツちやうう!!

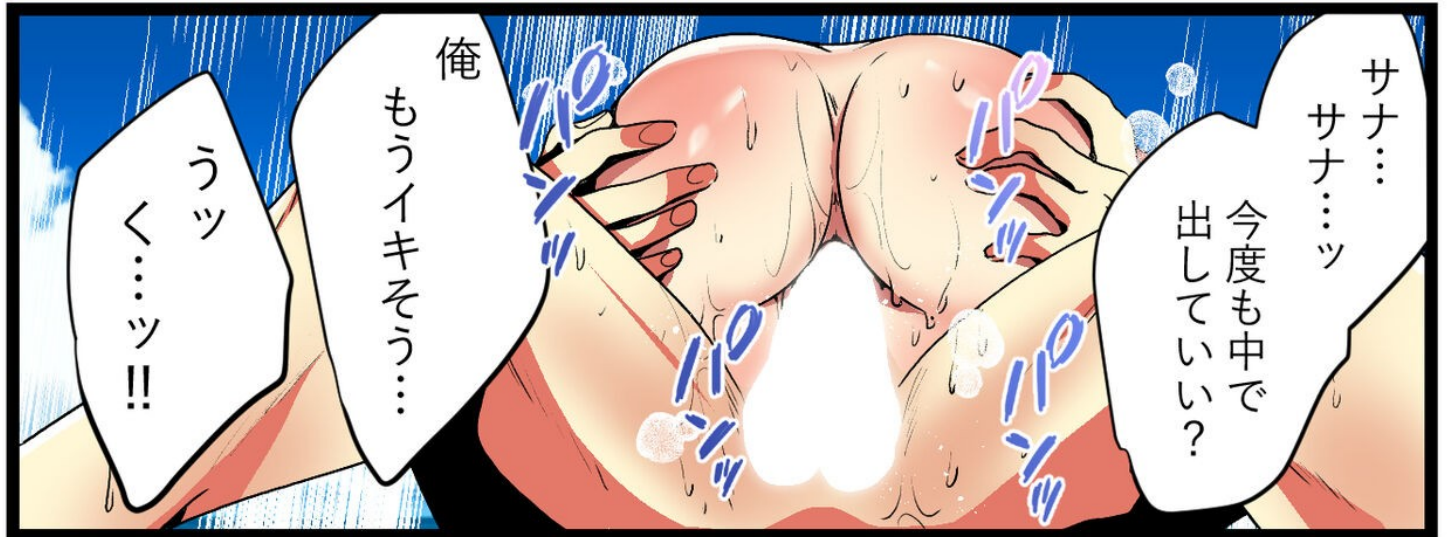
はっ

あ

あ

はっ

はっ



サナ：
サナ：ツ

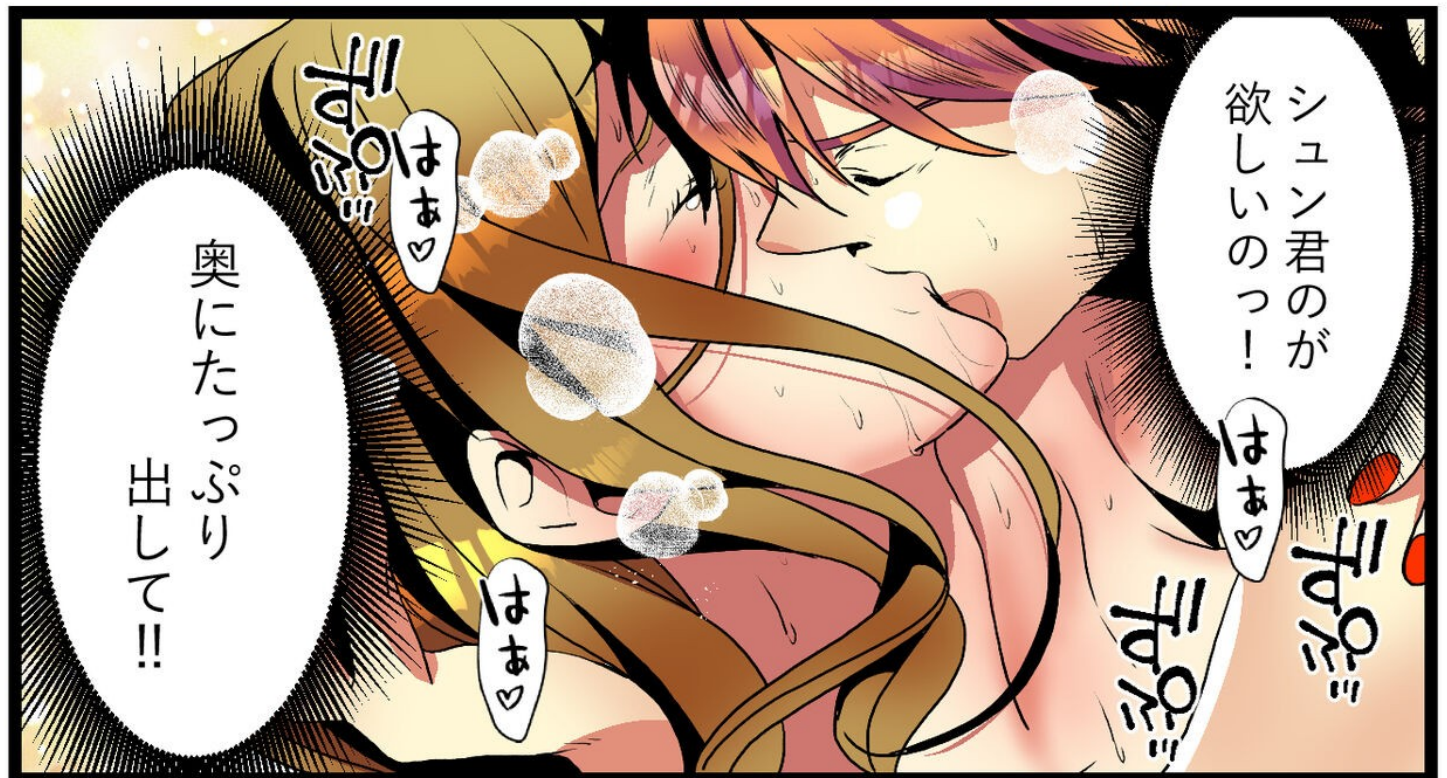
今度も中で
出していい？

俺

もうイキそう…

うッ

く…ッ!!



シュン君のが
欲しいのっ!

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

奥にたっぷり
出して!!





でも時折、
あたしを見る
シュン君の熱い視線に



その後、あたし達は
何もなかった振りをして
ビーチに戻った。

シュン君とはほぼ
何も話さないまま、
海水浴は終了。



終わりではなく
始まりの予感を
ひしひしと感じていた。